Food for all people

すべての人に、食べ物を。

SECOND HARVEST
セカンドハーベスト ジャパン

Annual Report
2015

©Natsuki Yasuda

Annual Report 2015

Index

私たちが目指すもの
Vision 02

私たちの目標
Our Big Goals 04

4つのプログラム
Core Programs 06

数字で見るセカンドハーベスト・ジャパン
Second Harvest Japan by the Numbers 08

私たちのレスポンス
Our Response 10

企業サポーターと築いたOur Response
Corporations: Our Response 12

団体サポーターと築いたOur Response
Agencies & Organisations: Our Response 22

個人サポーターと築いたOur Response
Working with Supporters: Our Response 30

フードバンクの未来のために
Future of Food Banking 40

支援者からのメッセージ
From Our Partners 44

スタッフ紹介
Staff Introductions 48

役員
Board 52

ご支援いただいた皆さま
Donors 54

会計報告
Financial Report 58

団体概要
About Us 60

Food for all people

すべての人に、食べ物を。

4年後、日本はオリンピックの開催国として世界から注目を集めます。
私たちの使命はその世界へ向けて
日本に適した形でフードセーフティネットを構築し示すことです。
食品が必要となった世帯がすぐに食べ物を得られること、
これがフードセーフティネットが持つ機能です。
2014年の秋、毎年開催しているフードバンクシンポジウムにおいて
私たちはこのゴールへの到達を宣言しました。
翌年には各関係機関と共にネットワークを立ち上げフードセーフティネット会議を開催しています。
そして2016年の秋、私たちはオリンピックの開催年までの4か年計画を発表するつもりです。
この未来に向けて私たちが行っている事は、本誌42ページから詳しく紹介しています。
ぜひご覧ください。

In just four short years the world will look to Japan as it hosts the Olympics. Our goal is to showcase a food safety-net that will match our culture and values. This safety-net will provide access to food to any household in need. We announced this goal in the fall of 2014 at our annual food bank symposium. In 2015 we created a Food Safety-net Network to bring together key stakeholders. In the fall of 2016 we will announce our 4-year plan. Take a look at page 42-45 to see where we stand today.

セカンドハーベスト・ジャパン CEO
Founder, Second Harvest Japan

マクジルトン・チャールズ
Charles E. McJilton

©Nagisa Kamiya

私たちの目標 / Our Big Goals

私たちが目指すものは、「フードセーフティネットの構築」と「フードライフラインの強化」です。

Develop a food safety-net and enhance the current food lifeline

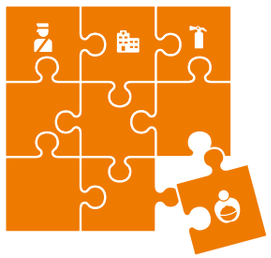
フードセーフティネットの構築

Developing a food safety-net

©Natsuki Yasuda

例えば警察や病院、消防署などの公共施設を想像します。これらは専門の設備やそれを運用する適切な知識を持った人員を備え、私たちが安全に、そして安心して生活を営むための存在として社会の中で一般化されています。また、老齢や障がい、急な病気や怪我、失業等のリスクに対して用意された社会福祉、公的扶助、医療・労働保険などの社会保障制度は、制度の範囲や深さの違いはあっても世界中で設計され広く利用されています。フードセーフティネットはそうした既存の公共施設や制度に、誰もが欠かすことのできない「食」の観点を加えた支援の体制・活動の総称です。今日食べるものがない、という事態が生じたとき、緊急食料支援が受けられる、食のセーフティネットの構築を私たちは目指しています。

We believe that everyone should have access to enough safe, nutritious food in their own community. We are committed to creating a food safety-net to make this possible. We believe that a food safety-net should be as common as a police box, hospital, and even a library. It should be a community asset that strengthens and supports citizens and our nation.

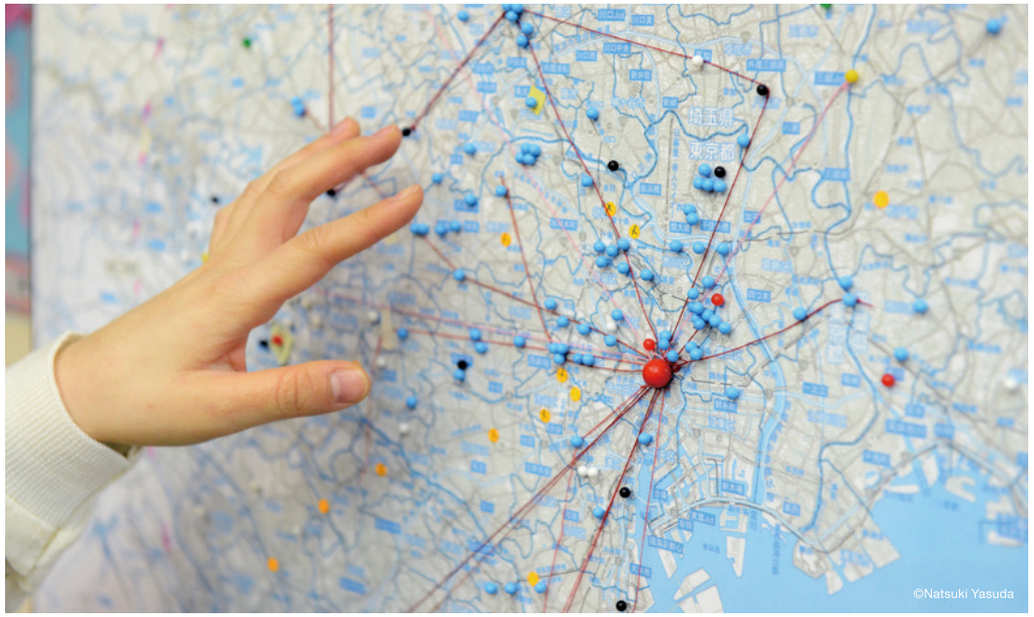


誰もが安全で栄養のある食品を、住んでいる地域で得られる事。こうした仕組みが基本的なセーフティネットの一部であるべきだと、私たちは考えています。

A food safety-net provides access to enough safe, nutritious food for those in need in their own community.

フードライフラインの強化

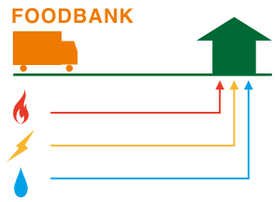
Enhance the current food lifeline



©Natsuki Yasuda

フードライフラインとは、食品の供給を水道や電気、ガスといった一般的なライフランと同様に、あらゆる場所へ食品を行き渡らせるための基幹を担う仕組みです。具体的な動きとして、関東圏においては新たな拠点の設置、地方での需要を補うため、食品企業の自社配送網を活用したサービスに加え、物流業者からの協力を得て配送網の強化を行います。また、フードバンクガイドラインの協定締結のもと、全国の連携フードバンク団体において、同じ基準でフードバンクを運営するような体制を整えています。私たちはフードバンクへ食品を提供する側と、フードバンクを利用する側で、より効果的な食品の流通を実現するために、ソフト・ハード面でフードライフラインの強化を目指しています。

We believe a robust food lifeline will increase the flow of donations. Much like the current lifeline (water, electricity, and gas), both hardware (storage facilities, trucks, and office space) and software (networks, people, food banking knowledge) are important to make this possible. With the cooperation of many stakeholders, and examples from overseas, we are creating this lifeline.



フードライフラインの強化の先に私たちが特に重要視しているのは、流通・食品・物流企業などの協力を得ながら、フードバンクの基幹流通をつくることです。

A vibrant food lifeline will efficiently deliver more food to those in need and the agencies, NPOs, and faith-based groups that serve them.

4つのプログラム / Core Programs

セカンドハーベスト・ジャパン（2HJ）では4つのプログラムを柱に活動しています。

Our four core programs to make sure people have enough food

01 Harvest Kitchen
ハーベストキッチン

ハーベストキッチンは寄贈された食品を調理し、生活が困窮している方々へ暖かい食事を提供する活動です。毎週実施される活動日には参加する多くのボランティアの協力を得て、上野公園で炊き出しを行っています。今後は行政やNPOと連携したお弁当配布のプロジェクトを計画しています。

Each week about 70 - 80 volunteers prepare and deliver nutritious meals in Ueno Park. We also provide bentos for distribution at Sumida River and Shinjuku Station twice a month

02 Harvest Pantry
ハーベストパントリー

個人世帯を対象に緊急食料支援を行う活動です。行政や社会福祉協議会、NPOなどの相談機関と連携し、様々な事情で食品が必要となった方々へ食品を提供しています。活動は食品を直接手渡す「パントリーピックアップ」と、食品の詰め合わせを発送する「パントリーパッケージ」があります。

We provide groceries (perishable and nonperishable food) through three different programs: direct pickup at our warehouse, food boxes (see Adopt a Family on page 20), and mobile pantry.

03 Food Bank
フードバンク活動

フードバンク活動は全てのプログラムの基盤です。企業などの食品サポーターから、品質には問題がなく賞味期限も残っているにも関わらず様々な理由で廃棄されてしまう食品を大口で寄贈していただき、提供先のニーズを調整しながら、NPOや福祉施設、教会などへ食品を提供しています。

This is our core activity. Each month we distribute fresh, frozen, and nonperishable food to 260 welfare agencies, NPOs, and faith-based groups in Kanto area as well as members of Second Harvest Japan Alliance.

04 Advocacy & Development
政策提言と発言

フードバンク普及のために、私たちは北海道から沖縄まで日本中を訪ね、地方でフードバンクを始める方々へ支援を行っています。まだ食べられる安全な食品を捨てずに活かすフードバンク活動は、この社会にとって前向きな代替手段であると、私たちは信じています。

One of the ways we are creating a food safety-net is through promoting food bank development. Our work includes public speaking, holding symposiums, conducting research, and participating in study sessions.

Second Harvest Japan

By the Numbers 2015

数字で見るセカンドハーベスト・ジャパン

ボランティア活動時間
Volunteer hours

31,534 hours 時間

私たちの活動全てにおいて、ボランティアの力が関わっています。セカンドハーベスト・ジャパンでは1年間にこれだけの「時間の寄付」を頂戴しました。

Thanks to All Volunteers, you gave us above hours of donation in 2015.

ドライバーボランティア
Volunteer Drivers

約 **6** Full-Time Staff 人分（フルタイムスタッフ）

フードバンク活動を語る上で欠かせないのがドライバーボランティアの協力。食品を引き取り、運び届ける、いわばフードバンクの大動脈を担うドライバーボランティアとアシスタントの活動時間は、フルタイムスタッフ約6人分にも相当します。

Drivers donated the combined hours of six full-time staff, nearly 12,000 hours. Without them the food would not get delivered to the various welfare agencies, nonprofits and groups serving those in need. More importantly, we simply could not afford to hire six drivers. They are our first ambassadors to the public.

東京ではまだまだ少ない、緊急的な支援を受けられる場
Tokyo has few places to access emergency food

上の図のように、海外では緊急的に食料を得られる「フードセーフティネット」の機能を果たす場が多く存在します。東京ではまだまだ少ないこうした場を、私たちは行政、NPO、お寺や教会、地方フードバンク団体などと連携して拡大していきます。

In large cities, it is common to have a wide network of groups providing food assistance. Our goal is to create a food safety-net so that those in need can have access to food in an emergency.

提供した合計食数（換算数）
Total number of equivalent meals delivered

4,022,649 meals* 食※

企業や個人の皆さまから寄贈された多くの食品。これを食数に換算すると、その数、4,022,649食にも上ります。

Thanks to the support of companies and individuals, we were able to deliver the equivalent of 4,022,649 meals. More than 4 million reasons to say arigatou.

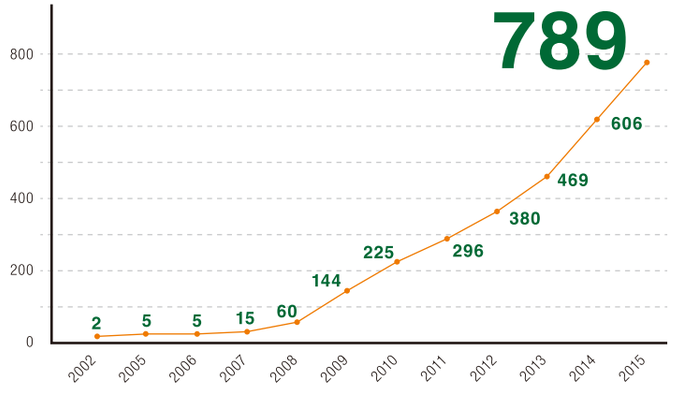
1食あたりの提供コスト
Our cost per meal

= **27** per meals* 円※

私たちが行う活動全体において、2015年中は1食あたり27円のコストで提供することができました。

Our average cost per meal in 2015 was ¥27.

私たちに食品を提供してくださる企業・団体数の推移
Number of companies that signed MOUs with us



私たちは食品を提供してくださる企業・団体と合意書（寄贈品授受に関わる契約）を締結しています。活動を開始した2002年当初はわずか2か所だった食品提供企業・団体は、2009年7月に100を超え、現在は789まで増えました。

In 2002 we had only two companies sign an MOU. By July 2009 this number exceeded 100. At the end of 2015 it surpassed 700. All through building trust one company at a time.

※すべての寄贈品重量から、飲料、水を除き、1人が1日生存するのに必要な量から算出
*Total wt. of donated food (minus water/drinks) ÷ min. needed for survival per NASA **Total meals ÷ Total expenses

※2015年12月現在の数字です / Data as of 12/31/2015

Our Response

共に活動を築き上げたパートナーとのストーリー
Stories of how our partners have responded

Food for all people
すべての人に、食べ物を。

企業 Company | 団体 Organization | 個人 Individual

＋

セカンドハーベスト・ジャパンはこの理念を実現するために
“フードバンク”というレスポンス＝回答を導き、今まで活動を続けてきました。
ここでは企業や団体として、また個人としての立場から、
それぞれの想いをもって私たちと共に築き上げた活動の形、
Our Response を紹介します。

Our goal is that everyone has enough food.
These stories are how our partners have responded
with us to make this a reality.

企業 Company ＋

企業サポーターと築いた Our Response

Corporations: Our Response

2HJには活動に訪れた方の名前や企業・団体ロゴがフロアの壁いっぱいに描かれた場所があります。日に日に描き加えられ、天井にも及ぶその一つひとつが、私たちと共に築いたそれぞれのレスポンスの数です。

In our main work room our walls are covered with logos and signatures from a wide range of supporters who come to volunteer with us. Each one represents a response. Together we are making sure people have enough food.

企業サポーターと築いたレスポンスの一例

Response 01 子ども達へ笑顔をニュー スキン ジャパンとの取組み / Children's Brighter Future 14

Response 02 「もったいない」のトライアングル！ / Collaborating on "Mottainai" 16

Response 03 新拠点を神奈川県にオープン 地域での新たな循環 / Opened new distribution center in Yokohama area. 18

Response 04 食品運送会社がボランティア 白くま便がすぐお届け / Logistics company providing delivery services 19

Response 05 アダプトアファミリープロジェクト / Adopt a Family program 20

Response 06 ハーベストキッチンは、より衛生的なキッチンへ / Higher food safety and hygiene in Harvest Kitchen 21

2HJのキッチン / Harvest Kitchen ©Natsuki Yasuda

子ども達へ笑顔をニュー スキン ジャパンとの取組み

Children's Brighter Future

ニュー スキン ジャパン 株式会社 Nu Skin Japan Co., Ltd.

Time / 時間 | **Food / 食品** | **Money / 資金** | Pro bono / 技能 | Facility / 設備 | Connect / 協働

社員参加型の食料支援プロジェクトを共に作り上げています。

Working with employees to provide food to kids

ニュー スキン ジャパン 株式会社は2006年から2HJを支援してくださっており、特に震災以降は被災した子どもたちへ向けた支援プロジェクトに積極的に取り組んでいます。これらのプロジェクトでは毎回笑いが絶えず、何かをしてあげるという姿勢ではなく、参加する社員も楽しむことで子どもたちへもその温かい思いが伝わっています。これらのプロジェクトは、同社の会員や社員もアイディアを出し実施されており、2HJとの積極的な関係から受取側のニーズを理解していることから、毎回プロジェクトの後には多くの反響が寄せられています。

Since 2006 Nu Skin Japan has been a significant supporter. After Tohoku disasters of 2011 they have been working actively with us to provide continual assistance to children in the affected areas. These projects always bring us big laughter because every participant is having fun and sharing their warm hearts.Both Nu Skin members/employees and our staffs understand what is really needed from long-term relationship. After each project we get many feedbacks.

Nu Skin Children's Hope Project 『クリスマス ギフト プラン』

Nu Skin Children's Hope Project: Christmas gift plan

クリスマス ギフト プランは被災地にある児童養護施設と保育園の子どもたち約700人にクリスマスギフトを届けるプロジェクトです。2HJが食品を届けている児童養護施設の子どもたちも一緒に参加し、クリスマスギフトを作成しました。ギフトとなるクリスマスブーツには、お菓子に文房具、それから参加した子どもたちによる手書きのメッセージが。参加した子どもたちへも楽しい時間を届けることができました。

Through this project we deliver Christmas gifts to over 700 children at foster homes and child care facilities in the affected areas in Tohoku. The gifts are prepared by Nu Skin employees and children at one of the children's nursing homes in Tokyo that we support. It was fun and a great opportunity for the children who participated.

子どもたちと一緒につくるクリスマスブーツ　東北のお友達に向けたメッセージを添えて

Making and wrapping presents with children in Tokyo for Tohoku children

Children's Brighter Future『スマイル ライブラリー プラン』

Children's Brigther Future: Smile Library Plan

本を通して子どもたちの笑顔をつくることを目的とし、福島県伊達市、宮城県石巻市に続いて宮城県気仙沼市の全小学校へ寄贈を行いました。「夢と希望」「明るい笑顔」を届けたいという願いから、図鑑や小説などの図書と書架、ノートやのり、色鉛筆など6種類の文具セットを届けました。子どもたちは新しい本を見て歓声を上げ、2HJの被災地での支援を通して、子どもたちへこころの栄養を届けることができます。

The objective of this project is to create smiles for children by delivering books and stationary items. We delivered to all elementary schools in Date, Fukushima Prefecture, Ishinomaki and Kesennuma Miyagi Prefecture. The children gave a big cheer at when they received the gift of new books, novels, notebooks, glue and colored pencils. This project provides emotional support to these children.

本の寄贈に喜ぶ子どもたち。どんな本に出会えるかな？

Children were excited to receive the books and stationary wondering what they would receive.

Children's Brighter Future『FOOD FOR KIDS』

Children's Brigther Future: Food for Kids

関東近郊と福島県の児童養護施設約100施設に毎月、お米や調味料を送るプロジェクトです。児童養護施設からは「日々使うお米や基本的な調味料が定期的にあると助かる」という、たくさんの食事を毎日作る施設運営ならではの要望がありました。こうした声に応えるため、ニュー スキン ジャパン 株式会社からお米、油、醤油などの食品を購入する形で支援をいただいており、子どもたちの毎日の食卓へ笑顔が届けられています。

This project supports about 100 foster home and childcare facilities in the Kanto area and Fukushima Prefecture. We received feedback saying "It is very helpful to get basic foods regularly" To meet these requests, Nu Skin Japan provided fund for us to purchase basic foods such as rice, oil, soy sauce and sugar for children's smiles at their dining tables.

施設に届けるパッケージ　毎回ボランティアの皆さんと施設の子ども達を思い浮かべながら作っています。

Food Packages to the Facilities. Thinking about the Children while packaging the grocery box with our Volunteers.

「もったいない」のトライアングル！

Collaborating on "Mottainai"

西友／ウォルマート・ジャパン、JA甘楽富岡 SEIYU/Walmart Japan / Kanra-Tomioka Agricultural Cooperative(JA)

Time / 時間 | **Food / 食品** | Money / 資金 | Pro bono / 技能 | Facility / 設備 | **Connect / 協働**

西友／ウォルマート・ジャパン、JA甘楽富岡、2HJの3者協働プログラム

Three organisations collaborating to tackle food surplus

西友／ウォルマート・ジャパンは、JA甘楽富岡（本所：群馬県富岡市）、2HJの3者協働で、通常の販売対象にならない、いわゆる「規格外野菜」を、フードバンクを通じて寄付食品として有効活用するスキームを構築しました。この連携は2015年3月から本格的に稼働を開始し、今後は規格外野菜を首都圏の福祉施設などへ定期的な寄付として拡大する計画です。同社はJA甘楽富岡と青果の「産地直送プログラム」を通じて過去40年余りにわたる協力関係があり、店舗での販売期間終了後に消費期限・賞味期限が残されている食品を自社物流センターに集約、2HJを通じて児童養護施設や母子支援施設などへ寄付する活動を2011年から開始、継続的に拡大させています。今回構築されたスキームの下で、JA甘楽富岡は会員農家が提供する規格外野菜を、販売用の野菜と一緒に西友／ウォルマート・ジャパンの川越物流センター（所在地：埼玉県川越市）に持込みます。同物流センターは店舗から提供される寄付食品の集荷拠点となっているため、2HJは同社からの寄付食品を同物流センターで受領する際に、持込まれた規格外野菜も一緒に引取り、当日中に寄付先の施設などに配分する事が可能になります。毎日の食卓に欠かせない野菜類は、福祉施設などでも常にニーズは高いものの鮮度保持が難しい事から、フードバンクを通じた寄付の拡大は容易ではないとされていました。過去2年余りにわたるパイロット・プログラムを経て確立されたこの取り組みは、こうした社会的なニーズに対応し、「規格外」とされて廃棄される野菜類を積極的に有効活用する事を目指すものです。

SEIYU/Walmart Japan helped organized a scheme among for JA Kanra Tomioka to donate surplus vegetables. This collaboration began in March 2015 and there are plans to expand to distribution to welfare facilities in Tokyo on a regular basis. Seiyu has over 40-year relationship with JA Kanra Tomioka. SEIYU/Walmart Japan expanded their donation program in 2011 to provide more food to welfare agencies and childcare facilities. Working with JA Kanra Tomioka made good sense. Under this scheme, JA Kanratomioka brings both non-standard and standard vegetables to the Kawagoe distribution center. As this center acts a collection point for store donations, we are able to also collect non-standard vegetables at the same time for distribution that day. Vegetables, which are essential for preparing daily meals at these institutions, were thought to be hard to keep fresh even though there were high demand. For the last two years we have carried out a pilot project to address the demand for these vegetables and the need to keep them fresh for delivery to these agencies.

今回構築されたスキーム

同社はこの取組みにより、一般社団法人日本有機資源協会主催・農林水産省協賛による「第3回（2015年度）食品産業もったいない大賞」で「審査委員会委員長賞」を受賞しています。

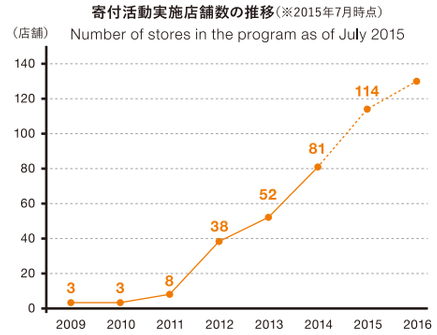
SEIYU/Walmart Japan wins "Third Annual Food Industry Mottainai Grand Prize co-sponsored by JORA/MAFF.

西友／ウォルマート・ジャパン食品寄付の実施店舗が100店舗を達成！

SEIYU/Walmart Japan surpasses 100 stores in the store donation program!

同社では、2009年に東京近郊の3店舗にて食品寄付活動を開始して以来、継続的に活動実施店舗を拡大しています。2015年7月には100店舗に達する運びとなり、今後2016年末までには、関東地区の約130店舗への展開を目指して、2HJとの連携をさらに強化します。

In 2009 SEIYU/Walmart Japan began this store donation program with three stores in Tokyo. In July 2015 the 100th store was added to this program. The goal is to reach 130 stores in the Kanto area by the end of 2016.



新拠点を神奈川県にオープン 地域での新たな循環

Opened new distribution center in Yokohama area.

シャングリ・ラ ホテル 東京、らでぃっしゅぼーや株式会社 Shangri-La Hotel, Tokyo / Radish Boya

Time / 時間 | Food / 食品 | **Money / 資金** | Pro bono / 技能 | **Facility / 設備** | Connect / 協働

フードバンクの中核ともいえる物流。シャングリ・ラ ホテル 東京の資金協力で新拠点が誕生。

Increasing distribution capacity with funding from Shangri-La Hotel

食品をいかに効率的に受け取り、必要な所へ届けるか。物流はフードバンクを運営するうえで、欠かせない要素の一つです。2HJ事務所併設倉庫、国立倉庫に加え、2015年7月新たに配送拠点となる倉庫を設けました。寄贈者・受益者双方のニーズの可能性に目を付けた場所が、神奈川県大和市です。

Efficient logistics are essenital to food bank operations. In addition to our warehouse spaces in Akihabara and West Tokyo, we opened a new distribution point in Yamato, Kanagawa Prefecture in July.

生鮮野菜もあります。流通センターが近く、配送途中に集荷できるから。

We receive fresh vegetables from the nearby distribution center

朝9時、ボランティアメンバーが元気な声で集まると同時に、納品トラックがやってきます。手際良く搬入される食品の多くは、近隣の流通センターを経由してきます。ここは関東でも物流の要となるエリアです。立地を活かし、らでぃっしゅぼーや株式会社より定期的な青果の寄贈がスタートし、取扱品目の栄養価向上に貢献しています。

At 9:00 AM volunteers eagerly wait for the delivery truck. Most of the donations comes from a nearby distribution center. This distribution center is the main one in Kanto for this donor. Radish Boya has started regular deliveries of vegetables. These donations have increased the amount of nutritional food we can offer.

「今日は梨があるね、夕食後のデザート出そうか」献立を考える施設職員の方

"We have pears today. Shall we serve them for dessert?"

近隣には生活保護率30%の地区も。“地域”に根付いた助け合いが広がっています。

Helping each other in a low-income community

受益者にもインパクトが。大和市に隣接する横浜市瀬谷区のNPO法人まんまは同区内の困窮世帯の支援活動をしており、毎月神奈川倉庫へ車で食品を取りに来ます。「2HJより食品を提供されるようになり、幅広く、細やかな支援が可能になりました。受け取った方の笑顔が私たちも笑顔にしてくれます」（まんまスタッフ野中氏の話）

Impact to the recepients. NPO Manma working in Seya Ward, Yokohama, has been helping needy households. This NPO comes to the warehouse in Yamato to pick up food. "By receiving the food from Second Harvest Japan, we can provide more assistance. The smiles of those we work with make us happy." (Mr. Nonaka, Manma staff)

車一杯に積みます。野中さん（右）と2HJボランティアの安藤さん（左）

Mr. Ando, our volunteer driver, filling NPO Mamma's car to the brim. Ms. Nonaka looks very happy.

食品運送会社がボランティア 白くま便がすぐお届け

Logistics company providing delivery services

株式会社ストレート Corporation Straight

Time / 時間 | Food / 食品 | Money / 資金 | Pro bono / 技能 | **Facility / 設備** | **Connect / 協働**

賞味期限間近の冷蔵品。迅速な配送でプロが助けます。

Refrigerated food is delivered efficiently by professionals.

2HJが取扱うのは常温品だけでなく、冷蔵・冷凍品もあります。そもそも賞味期間の短い冷蔵品は、寄贈提案を受けてから、受け渡しと配送を非常にタイトなスケジュールで組む必要があり、2HJの便だけでは稼働に限界があります。これに大いに貢献しているのが、株式会社ストレート、通称白くま便のボランティア配送です。

We handle chilled and frozen food. Chilled food near expiration needs to be promptly distributed. With our trucks alone we are limited to what we can handle. However, this company has come forward to offer their logistics to assist us.

たくさんの笑顔。それはもったいない配送便と食べ物のおかげ。

Smiles and thanks for the food donations.

シロクマのロゴ入り冷蔵車が2HJへ到着し、沢山のヨーグルトが持ち込まれています。これは、白くま便が通常の配送業務の傍ら、2HJの依頼により空き便で無償配送してくれるものです。当日配送依頼も受け付ける本業と同様に、迅速な対応をしてくれるため、賞味期限の短い冷蔵品でも受け取り可能となり、活用先が拡大しています。

Refrigerated vehicles with the polar bear logo arrive and large quantities of yogurt are delivered. They provide this pro bono delivery service alongside their regular deliveries. They process our request the same day and deliver promptly. Thanks to their assistance we are able to handle more chilled food and get it to more people.

救われた食べ物は、児童養護施設の子どもたちのもとへ。

Food donations being delivered to children in orphanages.

ボランティアすることで、社員も仕事に誇りが持てる。ウィンウィンの関係です。

Employees feel proud resulting in a win-win.

株式会社ストレート代表 牛沢さん Corporation Straight, Mr.Ushizawa

今年で設立8年目、徐々に会社の土台ができ、今度は自分達が進んで世の中の役に立ちたいと考えました。以前からテレビ番組を通して知っていた2HJの活動には、本業を活かして貢献できます。配送先の施設では笑顔で迎えてもらえるので、社員の充足感にもつながっています。これからも配送の案件、遠慮なく相談してください！

"It's been eight years since this company was started. The structure is being formed, and this time, we wanted to be the ones serving society. We knew about 2HJ through TV, and we can contribute through our main activities. At the welfare institutions we deliver to we are greeted with smiles bringing much satisfaction to employees. Please don't hesitate to consult us for future deliveries!" Mr. and Mrs. Ushzawa, president.

アダプトアファミリープロジェクト

Adopt a Family program

サンディスク株式会社、J.P.モルガン、アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社、DHLグローバルフォワーディングジャパン株式会社、ドイツ銀行グループ、特定非営利活動法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ、特定非営利活動法人マザーリンク・ジャパン

SanDisk Limited /J.P. Morgan / Applied Materials Japan, Inc. / DHL Global Fowarding Japan Co.Ltd / Deutsche Bank Group, Japan / singlemothers forum / Mother Link Japan

Time / 時間 | **Food / 食品** | **Money / 資金** | Pro bono / 技能 | Facility / 設備 | Connect / 協働

アダプトアファミリープロジェクトの歴史

Adopt a Family program history

アダプトアファミリープロジェクトは、「家族の一員のように食事を支援」をコンセプトに、学校や企業、団体などへ参加を募り、困窮世帯の状況や栄養上のニーズに沿った食品の詰め合わせを提供するものです。2004年に開始され、2007年には当時のパントリーマネージャーであったルビー佐久間が大きく発展させました。

This project first started in 2004 and was further developed in 2009 by Ruby Sakuma, our former pantry head. The concept was for schools, companies and faith-based groups to "adopt" a family and provide a box of basic food essentials that would match their situation and dietary needs.

年末のアダプトアファミリーパッケージの発送

Sending packages in time for the Christmas and New Year holidays

年末のアダプトアファミリーパッケージでは企業や学校で作られたメッセージ付きのパッケージが沢山2HJに届きます。これら食品パッケージを連携団体から頂いた対象者リストとマッチングさせX`masに間に合うように多くのボランティアと一緒に発送しています。今後もより多くの必要な家族へ届けられるよう頑張っていきます。

In December schools, companies and faith-based groups pack boxes and include messages for this program. These boxes are then sent to families that our partner organisations have introduced us to. Our volunteers work hard to make sure these packages arrive by Christmas. We would like to reach more families in 2016.

参加企業から届いた食品パッケージに手紙や返信用はがきを入れている様子

We include a letter from us as well as a postcard for the family to send back to us.

受け取った方からの感謝の手紙

Messages from these families

アダプトアファミリープロジェクトで食品を受け取った家庭からは様々な喜びの声が届いています。「サンタさんからの贈り物が来たよ！」と喜ぶお子さんの声や「わくわくドキドキしながら箱を開けました」、「普段は買えないお菓子があり親子二人で笑顔になりました」などうれしい言葉が返ってきています。

- “A present from Santa!”
- “We were excited to open the box.”
- “We both smiled when we saw sweets we normally couln't afford.”

届いたはがきの一部

Some of the post cards we received

ハーベストキッチンは、より衛生的なキッチンへ

Higher food safety and hygiene in Harvest Kitchen

プリンシパル・グローバル・インベスターズ株式会社、Salesforce.org Principal Global Investors (Japan) Ltd. / Salesforce.org

Time / 時間 | Food / 食品 | **Money / 資金** | Pro bono / 技能 | **Facility / 設備** | Connect / 協働

衛生的な設備を整えた環境へ引っ越し、より多くの方々へ食事を届けていきます。

We are making a central kitchen to serve more people and communities

私たちが炊き出しを開始した当初は、設備も道具も少ない中で、使える物を有効利用し実施してきました。それから少しずつ設備を揃え、現在まで継続することができました。今後はキッチン専用のスペースに衛生的な設備を揃え、炊き出しだけでなく、食料支援が必要な人、特にひとり親世帯や高齢者へお弁当を届けていきます。

In 2003, when we began preparing food, we made use of the little equipment we had. Over time our equipment has increased and improved and we are now able to cook and prepare meals that meet high standards for safety and nutrition.

これまでのキッチンの改善

Kitchen improvements over time

現在まで多くの企業様にご協力いただき、キッチンで使用する備品を少しずつ揃えることができました。また衛生指導にも入っていただきました。それによってボランティアさんの作業面の協力だけに頼らず、衛生環境を向上させることができました。また、多様化する寄贈食品にも対応でき、様々なメニューが提供できるようになりました。

We are grateful to the many companies like Morgan Stanley that have provided funding to improve our kitchen. We also would like to thank Shangri-La Hotel for providing a trained hygienist to help us improve food safety. All of these improvements have allowed us to use our diverse donations to create balanced meals

週に一回の炊き出しの準備をしています。

Preparing food for weekly meal distribution

キッチン移転プロジェクト

Launching the central kitchen

事務所から5分ほど歩いた場所に、新キッチン予定地を契約しました。そこに衛生的なキッチンを作ることで、より多くの方々に食事を届けることができるようになります。2015年には、プリンシパル・グローバル・インベスターズ株式会社、Salesforce.orgにご出資いただき、始動に向けて準備が進められています。

We signed a contract for a location about five minutes from our current facility. The central kitchen will be compliant with Health Department regulations and allow us to work with more local governments to provide hot meals to households in need. In 2015, both Principal Global Investors and Salesforce.org provided initial funding, though we are still short of the amount needed to begin renovation.

より多くの方々へ食品を届けるためには、環境の改善が必須です。

We need to improve operations in order to deliver food to more people

団体 Organization ＋

団体サポーターと築いた Our Response

Agencies & Organisations: Our Response

食品を必要としている方へ食品を届ける。これは私たちだけの力では到底及びません。行政や社会福祉協議会、NPOや教会といった団体サポーターは、私たちと共にこの双方を適切につなぐ、重要な役割を担ったパートナーです。

Getting food to those in need requires many partners. Some of these important partners are the Council of Social Welfare, NPOs, welfare institutions, and faith-based groups. We continually reach out to the communities we work in to increase the number of partners we have.

団体サポーターと築いたレスポンスの一例

Response 07 日本社会に合ったフードセーフティネットの構築へ Making a food safety-net that matches our culture 24

Response 08 フードバンクと施設の相互協力のかたち Food Bank & Agencies Working Together 26

Response 09 勉学と行動、人と人とのつながり、自立に向けて Self-reliance Through Study and Connecting With Others 27

Response 10 行政および社会福祉協議会との連携 Local Government & Council of Social Welfare 28

Response 11 行政と協働で実施「もったいない」を集めるフードドライブ Conducting Food Drives With Local Governments 29

Response 12 2HJの外に出て 協力団体が新宿でもお弁当を配布 Bentos Delivered in Shinjuku with Partner NPO 29

食品を引き取りに来られた団体の皆さまと / Organizations, NPOs and other Group supporters visiting 2HJ to pick up the food. ©Natsuki Yasuda

日本社会に合ったフードセーフティネットの構築へ

Making a food safety-net that matches our culture

一般社団法人社会的包摂サポートセンター、特定非営利活動法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ、認定NPO法人難民支援協会、一般社団法人生活サポート基金、豊島子どもWakuWakuネットワーク、一般社団法人お寺の未来、認定NPO法人自立生活サポートセンター・もやい

Yorisoi Hotline / singlemothers forum / Japan Association for Refugees / Seikatsu Support Kikin /Toshima Kodomo Wakuwaku Network / Otera no Mirai / Moyai

Time / 時間 | Food / 食品 | Money / 資金 | **Pro bono / 技能** | Facility / 設備 | **Connect / 協働**

フードセーフティネットとは一体なんだろうか？

What is a "food safety net"?

「食べる」ということは人が生きていくうえで不可欠なものですが、経済的に困窮し「今日、明日食べるものがない」事態が生じた場合一体どうしたらよいでしょうか？フードセーフティネットとはそういった状況になったとしても、心配なく食にアクセスすることができる新たなセーフティネットの仕組みを指しています。フードセーフティネットを構成するものとしてフードバンクやパントリー活動、炊き出し、フードスタンプ、フードコープなど色々と考えられます。これらをどのような組み合わせるのが良いのか、または他の方法などを考えていく事が重要です。

We believe that everyone should have access to safe, nutritious food. We are committed to creating a food safety-net to make this possible. We believe that a food safety-net should be as common as a police box, hospital, and even a library. It should be a community asset that strengthens and supports us. This safety-net would be made up of places where those in need can access food in times of emergency so that everyone has enough food.

©Natsuki Yasuda

フードセーフティネット会議（FSN会議）

Food Safety-net Network (FSN)

食に関する支援を行っている民間団体と連携し、どのようなフードセーフティーネットが日本社会に合うのかを検討する会議を3月から始めてます。2015年は7回会議を実施し、支援活動における食の支援の重要性についての情報交換、海外事例と比較し日本のフードセーフティーネットは如何に脆弱であるかについて議論されました。2016年も引き続き開催し、より多くの組織・団体が参加できるようにしていく方針です。

This is a network of NPOs, faith-based groups and community organisations that provide social services and are concerned that those they serve have enough food. Starting in March, we held seven meetings in 2015 to discuss the current status of Japan's food safety-net, examples in other countries, and how we can create a safety-net that matches our culture. We will continue to hold these meetings to include more organisations in the future.

会議の様子

FSN meeting

第1回フードセーフティネットフォーラム

Food Safety-net Forum

日本の食におけるセーフティーネットについての取り組みや課題の共有、今後の日本におけるフードセーフティーネットの仕組みや形を模索するために開催されました。当日は行政、社会福祉協議会、企業、NPOの方々約90名の方が参加され、海外の事例や日本の現状について情報共有しました。フォーラム後半ではFSN会議メンバー団体と参加者の間で活発な意見交換がされ、食の支援に関する関心の高さがうかがえました。

90 people attended our first "Food Safety-net Forum" in November. Attendees included government officials, welfare agencies, NPOs, faith-based groups, grassroots organisations and citizens. Presentations were made about current initiatives to get food to those in need in Japan and the US. FSN members held a panel discussion to exchange opinions and answer questions from the audience. Norm Gold of FeedMore (a US food bank) provided valuable insights.

フードセーフティーネットフォーラム会場内の様子

At the Food Safety-net Forum

私たちができること 連携の場で模索

Seeking new ways to cooperate with each other

FSN会議メンバー　一般社団法人社会的包摂サポートセンターの和久井みちるさん

Mrs. Wakui, FSN member

「誰もが安心して生きていける社会とは？」日々相談に訪れる方々を前に、この問いに向き合い続けた人たちが「まずは生きるために食べる！」から考えてみよう・・ということで始まったのがフードセーフティネット会議です。日頃は滅多に顔を合わせる機会のない面々がそこに集い、そこから何ができるのかを模索しています。

"'What is a society in which everyone can live safely?' Those who face this question daily think, 'First of all, I need to eat to survive!' This is how the Food Safety-net Network meeting started. Organisations who usually don't meet have an opportunity to gather and look for ways to work together."

フードバンクと施設の相互協力のかたち

Food Bank & Agencies Working Together

NPO法人ジャパンマック みのわマック Minowa MAC - Japan MAC (NPO)

Time / 時間 | Food / 食品 | Money / 資金 | Pro bono / 技能 | Facility / 設備 | Connect / 協働

食品提供と活動参加。私たちはお互いに嬉しい関係を築いています。

Donating food and volunteering to create a positive mutual relationship.

私たちと食品提供先団体との関係は、食品を「与える」「受ける」という一方的なものではありません。アルコール依存症等からの回復施設「みのわマック」と私たちとの関係は、お互いが嬉しい「3つのメリット」を生んでいます。ただの食品受け渡しを超えた、相互協力の取り組みについて紹介します。

Our relationship with organizations that we provide food assistance is not a one-way relationship. Our positive relationship with Minowa MAC, an alcohol rehabilitation center, creates three main benefits for those recovering from alcoholism that goes beyond giver and receiver.

月に2回の活動プログラム。私たちとみのわマックの半日のスケジュール

Bi-monthly Volunteer Program: A Typical Half-day Schedule

火曜朝9時、倉庫前にみのわマックの車が到着します。メンバーは職員と施設利用者の計4名。これから約2時間、倉庫内の整理・納品時の荷おろし補助などのボランティア活動に参加いただきます。そして、帰り道に別施設へ配送する分と自施設へ持ち帰る分の食品を車に積み、倉庫を後にします。こうした活動が月2回行われています。

Twice a month on a Tuesday morning staff and clients from Minowa MAC come to our warehouse and for several hours we work together unloading and organising donations. The food is then loaded into their vehicle to be delivered to other agencies as well as Minowa MAC.

みのわマックはアルコール等依存症からの回復プログラムを提供する通所施設です

Minowa MAC's alcoholism rehabilitation program

食品の提供が生む3つのメリット。フードバンク活動の多面性を象徴する取り組みです。

Three Benefits of Working Together: A symbol of our work

この取り組みは、3つのメリットをもたらしています。まずひとつは食品の提供という支援、それに加えて作業への参加が利用者様の生活訓練の場にもなっています。そして、私たちにとって彼らは貴重なボランティアスタッフです。私たちの業務を助けてもらいながら、食料提供以外の面でも協力ができることをとても嬉しく感じます。

The first is providing support via donated food. The second is an opportunity for the clients to give back to society and recieve training. The third is working with highly motivated volunteers. We appreciate having this mutually supportive relationship as it touches on a core value of treating people and organisations as equal partners.

必ず職員同伴、ボランティア保険加入等、作業時の安全管理に努めています

Safety is paramount for us. All volunteers and employees are covered by our insurance.

勉学と行動、人と人とのつながり、自立に向けて

Self-reliance Through Study and Connecting With Others

東京家政学院大学「千代田ボランティアサークル」、清泉インターナショナルスクール、ブリッジフォースマイル

Tokyo Kasei Gakuen University Chiyoda Volunteer Club / Seisen International School / Bridge For Smile

Time / 時間 | Food / 食品 | Money / 資金 | Pro bono / 技能 | Facility / 設備 | Connect / 協働

2HJの活動には様々な学生、多数の学校が参加します。共通するのは「行動力」

Schools and students may be diverse, but their power to act is the same

「これだけの方が食に困っているのだから、私たちから行動しないといけないと感じました」とボランティアサークルの堤部長。「大量調理と衛生管理の両立は私たちの授業内容にも通じる。召し上がる方のことを考えながら、スピーディーに、綺麗に、均等に盛り付ける事の難しさを実感」活動への参加が学生の経験に活きています。

According to Ms. Tsutsumi a student majoring in Health and Nutrition, "I knew we needed to do something when I first saw such a long line of people in Ueno Park. Preparing and cooking so many meals like this, while maintaining food safety standards, is a valuable lesson."

クリスマス前には、清泉インターナショナルスクールのエンジ色のバスが2HJへ

Seisen's bus delivers packages each December

年末年始恒例のアダプトアファミリープロジェクト（※詳しくは20ページ）をクラスで実施。担当したスコルモスキー先生よりコメントを頂戴しました。「清泉コミュニティーでは生徒、先生が一丸となり社会のニーズに向き合う学びの機会を応援します」綺麗なラッピングと、手紙を同封したパッケージが困窮世帯に届きます。

Unloading beautifully-wrapped boxes with other staff, Mr. Skulmoski of Seisen International School comments, "Seisen believes in helping all members of our community. The Adopt a Family program brought our entire school together, both teachers and students, under the same cause of helping our neighbours."

B4S（児童養護施設から社会へ巣立つ子共達を応援するNPO）との社会体験プログラム

Partnering with Bridge For Smile internship program

NPO法人ブリッジフォースマイル（B4S） 伊藤 翔平さん Shohei Ito of NPO Bridge For Smile

「ボランティアってしてもらうものだと思っていたけれど、中学生の自分でも人の力になれることを知れた」と、プログラムに参加した中学生からの言葉。児童養護施設職員からは「『ありがとう』と言ってもらえる事や、『頑張ってるね』と声をかけてもらう事で児童の自信になったようです」との声が寄せられています。

Junior and high school students living in children's homes intern with us through Bridge for Smiles. Past participants have commented, "I used to think that others volunteered for me, but I learned that I could be useful to others." A case worker commented,"Receiving encouragement from adults in a program like this gives children the confidence they need (to open their minds to different paths)."

行政および社会福祉協議会との連携

Local Government & Council of Social Welfare

東京都、神奈川県の行政および社会福祉協議会の相談窓口担当 Local Government & Council of Social Welfare Tokyo and Kanagawa Offices

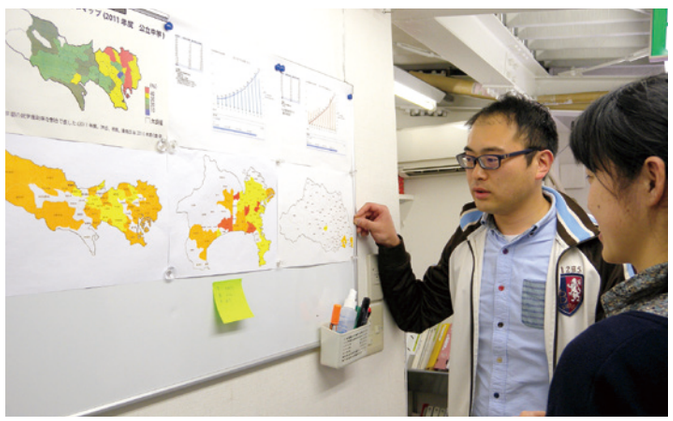
Time / 時間 | Food / 食品 | Money / 資金 | **Pro bono / 技能** | Facility / 設備 | **Connect / 協働**

食料支援案内状および依頼状制度の導入

How to Access our Food Support System

パントリーでは食料支援が必要な個人に対して初回は無条件で提供しますが、2回目以降は行政、社会福祉協議会、民間団体からの案内状もしくは依頼状がある方にのみ提供する紹介制度を2014年10月から導入しました。これは食料支援プラス継続的に相談窓口とつながることで問題解決へと向かっていくようにするためです。

We provide food assistance to anyone who contacts us. If they need further assistance we ask them to get a "Letter of Introduction" from one of our partners (government agency, Council of Social Welfare, NPO, or faith-based group). We have found this to be an effective approach.



パントリー利用説明会を開催

Pantry Explanation Session

パントリー活動についてより多くの機関に知ってもらうため「パントリー説明会」を8回開催しました。2014年までは22か所との連携でしたが、この説明会以降、東京都と神奈川県内で77箇所（2015年末時点）の窓口との連携が始まりました。これにより昨年よりも多くの食料支援が必要な方への食品提供が可能になりました。

We held eight information sessions to increase the number of organizations we work with with to provide direct food assistance. In 2014, we had 22 partners in Tokyo and Kanagawa Prefectures using our pantry service. This number increased to 77 partners in 2015. Because of this we were able to provide food to more people in need.

パントリー利用説明会の様子（説明者：2HJ 芝田）

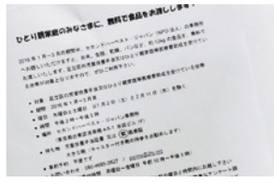
Yuji Shibata leading an explanation session

足立区役所親子支援課との連携

Cooperation with Adachi Ward Parent-Child Support Division

一人親家庭への食料支援について新たな方法を検討するために、足立区に居住されている方で児童扶養手当または一人親家庭等医療助成受給世帯を対象に無料で食品を提供するプロジェクトを企画。親子支援課の全面協力で5000世帯へお知らせをしました。2016年1月から3月の間で1回提供しアンケート調査も実施する予定です。

We developed a pilot project with this division to offer food assistance to Adachi Ward households who receive child allowance and/or medical assistance. This division sent out information fliers to 5,000 households inviting them to our warehouse in Akihabara to pick up food in the first three months of 2016. By the end of March 2016, over 600 households had registered to receive food. A great success.



足立区のひとり親家庭へのご案内チラシ

Information pamphlet for single-parent families in Adachi Ward

行政と協働で実施「もったいない」を集めるフードドライブ

Conducting Food Drives With Local Governments

世田谷区清掃リサイクル部事業課・文京区資源環境部清掃リサイクル課 Setagaya City and Bunkyo City

Time / 時間 | **Food / 食品** | Money / 資金 | Pro bono / 技能 | Facility / 設備 | **Connect / 協働**

食品ロス削減へ 行政とのフードドライブ実施が増加

More local food drives to reduce waste

区が実施する環境イベントに合わせ、2HJでは行政と共にフードドライブを実施しています。食品ロスを身近な問題と捉え、世田谷区や文京区を始め行政主体のフードドライブが増えています。

We held food drives at local environmental events. These food drives are increasing in Setagaya and Bunkyo wards as more people become aware of food waste.

台所から考える食品ロスと地域貢献 地元に密着したボランティア活動として

Local Contribution to Food Waste: Community Volunteer Activities

ただ食品を集めるだけでなく、地域の住民が直接参加できるボランティアとして実施できるのがフードドライブの特徴。この取り組みは食品ロス削減にとどまらず、集めた食品を地域でどう活かすのか、食品が必要な人たちと食べものを繋げるフードセーフティネットについて考えるきっかけにもなります。

Rather than simply gathering food we also work to engage the community through local volunteer participation. We aim to create a food safety-network by connecting food surplus to those who need it.

2HJの外に出て 協力団体が新宿でもお弁当を配布

Bentos Delivered in Shinjuku with Partner NPO

新宿ごはんプラス Shinjuku Gohan Plus

Time / 時間 | Food / 食品 | Money / 資金 | **Pro bono / 技能** | Facility / 設備 | **Connect / 協働**

2HJのお弁当は、生活や健康の相談のきっかけにも

Bentos as a part of free consultation

新宿で路上生活者の相談窓口を行っている「新宿ごはんプラス」に毎月約240食提供しています。生活のことや健康のことなどの相談に繋げるきっかけとしても利用していただきました。

Shinjuku Gohan Plus provides about 240 meals per month to people living on the streets in Shinjuku. The service is a means offer to free consultation.

今後のお弁当プロジェクトへ

2016 Bento Program

2HJは今後ますます多くの方々へお弁当を届けようと計画しています。どんな人が食べるのか、どうしたら喜んでもらえるのか、フィードバックをいただきながら、オリジナルのお弁当を工夫しています。他の行政機関やNPO団体とも連携し、フードセーフティーネットを構築していきます。

We change our menu based on feedback we receive. We want to provide nutritious meals that people enjoy. This is an important part of the food safety-net network. Working with other partners is an part of this.

個人 Individual ＋

個人サポーターと築いた Our Response

Working with Supporters: Our Response

2HJには様々な形で私たちを支援してくれる個人サポーターが多くいます。ボランティアとして時間の寄付をくださる方、資金や食品を寄付してくださる方、プロボノとして技能を提供してくださる方。どれも私たちにとってかけがえのない支援です。

We have many individuals who help us in many ways. They volunteer their time, send food, provide financial assistance, and offer their professional skills. To us, each and every one of our supporters are an irreplaceable part of our team.

団体サポーターと築いたレスポンスの一例

Response 13 2HJから温かい食事を スープキッチン Harvest Kitchen offers Hot Meals 32

Response 14 畑から獲れたて直送！支援の輪を繋ぐ野菜のおじさん Fresh from the farm! The gentleman behind it all 34

Response 15 2HJの活動の要！食品を運ぶ配送ドライバーの活躍 The Role and Importance of The Driver's Club 35

Response 16 スープキッチンの活動に、意外なプロのご協力 Professionals assist with the Hot Meal Program 36

Response 17 2HJに行くついでに、ちょこっと寄付 "We donate a little just by going to 2HJ" 37

Response 18 パントリーを支えるプロボノの力 Pro bono support for Harvest Pantry 38

Response 19 地元の仲間と始めるフードドライブ Starting a food drive with local friends 38

ドライバーズクラブで配送ボランティアを行う宮脇さん（左） / Miyawaki-san(Left) is helping us to deliver the packages to the people in need of assistance. ©Natsuki Yasuda

2HJから温かい食事を スープキッチン

Harvest Kitchen offers Hot Meals

ハーベストキッチン参加のボランティアの皆さん　Harvest Kitchen Volunteers

Time / 時間　Food / 食品　Money / 資金　**Pro bono / 技能**　Facility / 設備　Connect / 協働

多くのボランティアさんが参加し、様々な食材でスペシャルメニューを提供しています！

Our volunteers create special menus with different foods

毎週私たちが行う上野公園での炊き出しには、金曜日の準備、そして土曜日の実施においても多方面から大勢のボランティアさんが集まります。学生、主婦、企業の方、定年後の方、様々なボランティアグループ、また多様な国籍の方に参加していただいています。炊き出しに使う食材も、その時々の寄贈された食材を組み合わせてベテランのボランティアさんが思考をひねり、オリジナルメニューを作っています。どんなメンバーが集まるか、どんな食材が集まるかは来てみてのお楽しみ。毎週賑やかに楽しく活動しています。

Volunteers join us to prepare food on Fridays and distribute them at Ueno Park on Saturdays. We have a diverse set of volunteers from different age ranges and cultures. Some are students, housewives, professionals and retirees. We also have volunteer groups from companies, schools and faith-based groups. Our veteran volunteers create different menus using the food donations on hand. Every week is exciting because we have different volunteers creating different foods.

参加されるボランティアさんは年齢も、性別も、国籍も、経験も様々。だから面白い！

Volunteers of all ages and backgrounds help make it all fun!

2HJのスープキッチンはボランティアの皆さんのチームワークに支えられています。初参加の方も活動しやすいように、バイリンガルのボランティアリードの方や、レギュラーで参加している方が声をかけて、流れを説明したりしています。料理が得意な方、力持ちの方、器用な方、英語が得意な方、整理上手さん、盛り上げ担当さん…！？そうでない方にも、みなさんに活躍していただいています！

Volunteers join us every week, together making everything happen with a smile. Our experienced and bilingual volunteers make it easier for new volunteers to join in. Our volunteers are made up of amazing cooks, strong lifters, people who speak English, individuals with good organizing skills and many more. No matter what you are good at, everyone can join in!

上野公園での食事提供

Once we get everything prepared at the soup kitchen, we move to Ueno Park

2HJのボランティアならではの様々なご縁も!?

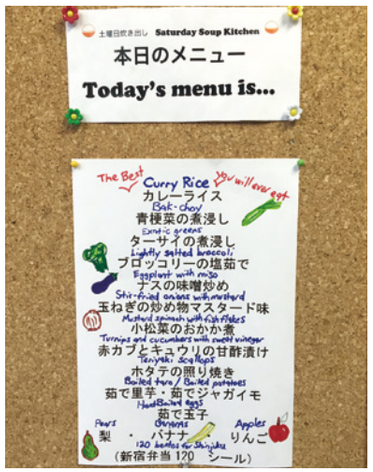
Our volunteers are connected in so many different ways

包丁の持ち方を教えたり、英語を教えたり、流行りの歌や、母国のこと、お子さんの話、就活の話、スマホの使い方まで…話題に尽きることなく盛り上がっています。時には同業他社のボランティアさん同士で共同作業をしてもらうことも。実は2HJのボランティアさん同士で結婚された方もいます！他にも「日常では会えないような方の貴重な話が聞けた」「包丁が上達した」「英語を話す練習ができた」そんな声もあります。

Our volunteers share experiences, teach one another how to handle knives, speak English, sing popular songs, talk about culture, their children, their parents and even how to use smartphones. Competitors learn to join forces and work together. We even have volunteers that met through us and got married. You can meet so many people and everyone has something interesting to share and teach one another.

金曜日の炊き出し準備

Friday Hot Meal Preparation



寄贈食品の組み合わせで、1日限りのメニューが完成

We prepare the menu based on donated foods

炊き出しに使用する食材は、種類も量もその時々によって様々。それらを組み合わせて、メニューを考えます。普段見慣れない食材が来た時も無駄にはしないように、定期的にボランティアにレギュラー参加している方々がアイデアを出し合い、新メニューに挑戦。オリジナルレシピが日々誕生しています。

The amount and selection of food used in the hot meal program differs constantly. We create a menu based on what we have. We never miss out on the chance to create something new and special using the food and ingredients that are kindly donated to us.

当日まで何が出来上がるのか、誰にもわかりません！

Nobody knows what can be prepared until the day comes!

畑から獲れたて直送！支援の輪を繋ぐ野菜のおじさん

Fresh from the farm! The gentleman behind it all

ケアセンター本導 自立準備ホーム 大畑 道雄さん Care Center Hondo Independent Reformatory, Mr. Michio Ohata

Time / 時間 | **Food / 食品** | Money / 資金 | Pro bono / 技能 | Facility / 設備 | **Connect / 協働**

「今日これから野菜を届けていいかな？」と収穫を知らせる電話が鳴ります。

The phone rings, "Is it OK to deliver the vegetables today?"

大畑さんからの電話は大体いつもこんな調子。野菜の生育は天候次第なので、たくさん獲れたその時に連絡が来るのです。軽トラックの荷台いっぱいに届く新鮮な野菜は、施設への配送・パントリーピックアップ・炊き出しの全てにおいて大活躍！既製品の取り扱いが多い中、生の野菜は貴重な栄養源となってくれます。

Mr. Ohata often calls saying, "Vegetables grow depending on the weather, I will call if I can harvest a large amount." The trucks delivering fresh vegetables are a big part of our activities. No matter what we receive, all food is valuable to us.

届く野菜は地元東京産！お店で買うより新鮮な野菜です。

Fresh vegetables from Tokyo! Even more fresh than at the store

東京の東端、葛飾区に大畑さんの畑はあります。ここで主に小松菜などが栽培されています。市販品は収穫後、選別や包装→市場→小売店という流れを経ていますが、ここに届く野菜は畑からそのままやって来るので鮮度が違います。根っこがついたままの小松菜は、サッと茹でてお浸しにすると野菜の旨みをしっかり感じることができます。

Mr. Ohata's field is located in Katsushika Ward, northeast side of Tokyo. He grows a lot of Japanese mustard spinach there. The vegetables delivered to us are even more fresh than the ones sold at the market because there is no middleperson between us and the farmer. We can really tell how fresh the vegetables are when we are preparing them.

トラックの荷台いっぱいの野菜。この日届いたのは小松菜、キャベツ、大根。

Trucks loaded with vegetables. Today we got Japanese mustard spinach, cabbage and radish

野菜を積んできたトラックの荷台。帰りはこんな姿に変わります。

Trucks loaded with vegetables look like this when they leave.

実は大畑さんにはもうひとつの顔があります。畑で農作業に従事しているのは、「自立準備ホーム」に入る若者たち。少年院出所者が生活するホームが併設されているのです。私たちはホームで使うための食品の提供を行っています。野菜で満杯だった荷台が今度はダンボール箱でいっぱいに。お互いに助け合いの関係がここにあります。

There is something else very unique about Mr. Ohata's crop. He hires young people from independent reformatories where they live. We also provide meals to these facilities. The vegetables are harvested and packed. It's a relationship where we help each other mutually.

野菜に代わってお持ち帰りの食品を積んだトラック。

Trucks loaded with prepared food instead of vegetables

2HJの活動の要！食品を運ぶ配送ドライバーの活躍

The Role and Importance of The Driver's Club

中村 一男さん、古川 憲司さん Kazuo Nakamura and Kenji Furukawa

Time / 時間 | Food / 食品 | Money / 資金 | **Pro bono / 技能** | Facility / 設備 | Connect / 協働

配送ドライバー/マイカーを用いたドライバーズクラブでの施設配送時のエピソード

Stories from the Driver's Club

食品の配送ボランティアには、2HJ所有の車両を用いた配送ドライバーボランティアのほかに、「ドライバーズクラブ」としてボランティアさん所有の車両にて福祉施設等へ配送をしていただく参加方法があります。配送先施設からの「ありがとう」は、配送ドライバーへはもちろん、寄贈企業や関係者へ向けられた感謝の言葉です。

Some volunteers drive our trucks and others use their own car as a part of the Driver's Club. The staff working at the welfare agencies express their gratitude to the drivers and their efforts to help others in need.

定年退職後はドライバーボランティアとして活躍　中村さんのエピソード

Kazuo Nakamura's story: Volunteer driver after retirement

「会社を退職すると社会との接点が一旦切れる訳です。ボランティアを通じて繋がりを持つというのは自分の為にもすごくいい事。配送先に外国人の生活困窮者支援の団体があるのですが、そこのゴッドマザーが愉快な人でいつも大笑い!」と、笑顔で語る中村さん。2HJでの週１回の配送ボランティアは定年退職後の新たな活躍の場です。

"When you resign a job you are cut from the company and lose that connection. It is important to create good connections through volunteer work. For example, I deliver to a group assisting foreigners in need and the godmother in charge is such a cheerful person!" He began to volunteer as a driver once a week after his retirement.

中村さん：2HJトラック前で

Kazuo Nakamura in front of the 2HJ truck

「ありがとう」の言葉に充実の週末　ドライバーズクラブで活躍中の古川さんのエピソード

Kenji Furukawa's story: Weekends that focus on, "Thank You"

IT系企業で働く毎日ですので、平日の週末は少し体を動かしたいと始めたボランティアです。土曜日に自家用車で2HJへ行き、食品を満載して横浜方面にある数カ所の母子養護支援施設を回っております。その際に、掛けられる言葉の「ありがとう」と快い疲れにより、週末の気分転換どころか、とても充実した週末が過ごせます。

"I work for an IT company everyday and I decided to do volunteer work because I think it is a good way to exercise on the weekends." He drives his car to our warehouse in Akihabara every Saturday, collects the food and distribute them to facilities assisting mothers in the Yokohama area. Every "Thank you" he receives, cheers him up and makes him forget about any stress he might have.

古川さん：2HJにてマイカーに食品を積み込み、施設へ配送に向かいます

Kenji Furukawa loads the food for his deliveries

スープキッチンの活動に、意外なプロのご協力

Professionals assist with the Hot Meal Program

松田武史さん、千葉貴子さん、高橋真実さん Takeshi Matsuda, Takako Chiba and Mami Takahashi

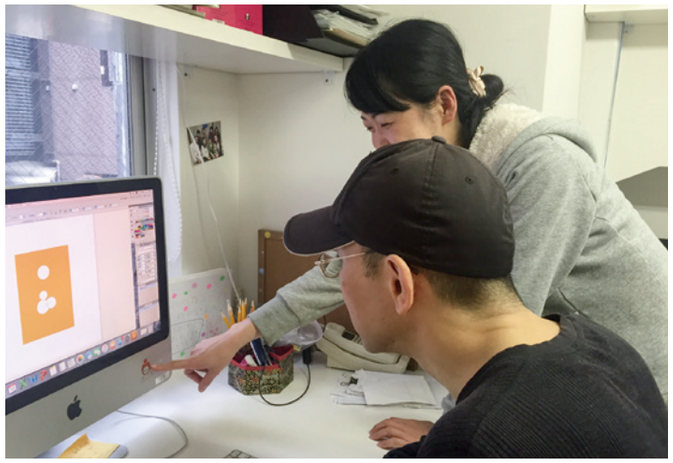
Time / 時間 | Food / 食品 | Money / 資金 | **Pro bono / 技能** | Facility / 設備 | Connect / 協働

炊き出し × ライター＆デザイナー！？

Writers & Designers

2HJの活動は、直接食品を扱わないプロボノの方のご協力にも支えられています。各分野の専門の方に、無償の技術で私たちの活動をサポートしていただいています。

Volunteers support us with their special skills free of charge.



キッチンに貼っているポスターはプロボノの方の作品です

A poster in our kitchen was created by a volunteer

「フードセーフティネットを構築するために、あなたにできること」このポスターは、デザイナーの松田さんに作成していただきました。見やすいポスターで、キッチンに来たことをきっかけに、様々な形の支援に繋げることができるようになりました。松田さんは定期的に実際の炊き出しのボランティアにも参加しています。

Entitled "What you can do to build a food-safety network," this poster was designed by volunteer Takeshi Matsuda. Anyone can see it on our wall when they come to help. Takeshi has been volunteering with us regularly for many years.

ぜひキッチンで実物を見てくださいね！

We encourage you to visit the kitchen and see how everything works!

プロボノの方にご協力いただき、Thanks Reportを作成しました

The "Thanks Report" was created by a volunteer designer

食品を寄贈していただいている企業のうち、炊き出しで毎週のように使わせていただいている企業様宛にThanks Reportを作成しました。ライターの方と、デザイナーの方にプロボノとしてご協力いただき、2HJに寄贈された食品がどのように使われているのか、わかりやすくまとめていただいています。

This report is submitted to companies who contribute food used in the soup kitchen. The writers and designers helping us pro bono create friendly and easy-to-understand material to show how we use and prepare hot meals and bents.

感謝の気持ちを込めて寄贈元へ　Our gratitude to all contributors

2HJに行くついでに、ちょこっと寄付

"We donate a little just by going to 2HJ"

2HJにいらっしゃる皆さん To all our volunteers and supporters

Time / 時間 | **Food / 食品** | **Money / 資金** | Pro bono / 技能 | Facility / 設備 | Connect / 協働

折角なら…、戸棚の奥に食べきれない食品が眠っていたりしませんか。

Sometimes you find food that you had forgotten you even bought?

2HJでは毎日様々な活動をしているので、多くの方がいらっしゃいます。その際に、食品や、炊き出しで使う消耗品などや、現金を寄付してくださる方もいます。2HJにお越しになる際は、お家の戸棚をチェックしてきてくださいね！事務所が開いている時間は常時受け付けています。スタッフにお声がけください。

We have different activities everyday with different individuals participating. Some of them contribute food or even a little money. When you join us, please check and see if you have something to donate. Our office will accept donations anytime during office hours.

炊き出しのボランティアさんに、食品の寄付もいただきました

Harvest Kitchen volunteers regularly volunteer food

この日はボランティアさんが、オススメの調味料を持ってきてくれました。定期的にレギュラー参加している方が、炊き出し用の調味料の在庫切れに気づいて持ってきてくれることもあります。そのほかにもご家庭に眠っている缶詰1個から寄付を受け付けています。食品によってはパントリーの個人支援に使わせていただいています。

On this day a volunteer brought a special ingredient that was surplus at a food expo. Volunteers participating on a regular basis notice when we are running out of something and replace it with new items. If you have something around your home or office that you don't need anymore, we probably can use it. Most of the food in our pantry has been donated by individuals.

定期的にボランティアに参加しているティムさん　Tim Sullivan is a regular volunteer

「そろそろ必要だと思って…」　消耗品も寄付

"If we notice something we need soon..."

定期参加のボランティアさんは、消耗品の減り具合にもよく気がついてくれます。割り箸やゴミ袋、洗剤やスポンジも寄付でいただいた物を活用しています。何かの折にいただいた贈り物が、ずっと残っていたりしませんか。2HJで活用させていただきます！

Volunteers participating on a regular basis quickly notice when we are running out of something. Disposable chopsticks, trash bags, detergent and sponges - everything we use comes from donations. If you have anything that you can spare - even if it isn't a food item - please be in touch with one of our staff.

炊き出し準備のボランティアの勝田さんがクレンザーを持ってきてくれました
Our volunteer, Katsuta-san, brought some cleanser

Response 18

パントリーを支えるプロボノの力

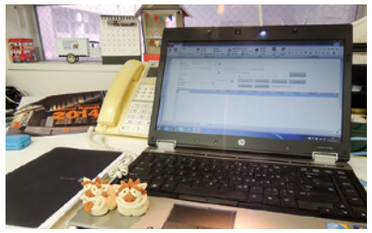
Pro bono support for Harvest Pantry

湯村 茂和 Shigekazu Yumura

Time / 時間 | Food / 食品 | Money / 資金 | **Pro bono / 技能** | Facility / 設備 | Connect / 協働

IT技能を活かした貢献の形 データベースの構築で

Utilizing IT skills by building database



湯村さんの働きがなければパントリーは機能しません。湯村さんは毎週200人以上が利用するパントリーの活動を支えるデータベースシステムを作り上げてくださいました。

Harvest Pantry will not work without his support. He developed the database system that makes the work of Harvest Pantry possible.

経験を活かす参加 プロボノとして関わって

Providing pro bono services

日常使わない言葉などを解釈し、仕事以外の時間という限られた中で、スタッフと試行錯誤しながら作るのは大変なことも多かったそう。ご自身の経験が役立つのであればと来てくださり、様々なボランティアさんたちと関わり、仕事以外の社会との接点ができ視野が広がったと楽しんでくださっています。

It was not easy for him and his staff to complete the database. They put in long hours and struggled through trial and error. Looking back, he realized this project with other volunteers made his private life more fruitful.

Response 19

地元の仲間と始めるフードドライブ

Starting a food drive with local friends

荒川 春子 Haruko Arakawa

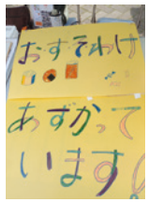
Time / 時間 | **Food / 食品** | Money / 資金 | Pro bono / 技能 | Facility / 設備 | **Connect / 協働**

すみだ青空市ヤッチャバでの月一フードドライブ

Food drive at Sumida Aozora City Yacchaba

毎週土曜、すみだ青空市ヤッチャバでは、農家さんが集まり市を開催しています。その中で唯一何も売っていないブースがひときわ目を引きます。ボランティアの荒川さんのフードドライブのブースです。

Every Saturday Sumida Aozora City Yacchaba has a farmer's market. There is one booth with Haruko Arawaka colllecting food donations.



地元に根差したフードドライブ

Food drives rooted in the local community

荒川さんが地元でやったらどうだろうと仲間を集めて開催し、毎月第2土曜日、定期的に行っています。お客さんも近所なので、買い物ついでに持ってこれる手軽さがあり、荒川さんたちの気さくな人柄もあって、2HJについてわかりやすく説明し、笑いのあふれる、地元に根ざした貴重なフードドライブです。

Haruko Arakawa and her friends run a food drive every second Saturday. As customers are neighbors, it is easy for them to donate food. It seems her openhearted character makes the food drive closely rooted in the local community.

In Gratitude

ご支援いただいている皆様へ

Message to Our Supporters

すべての人に、食べ物を。
皆様からの支援がこのスローガンを現実のものにしています。
私たちが提供する温かい食事、私たちがお渡しする食品が入ったバスケットやパッケージ、
それから児童養護施設へ届けられるたくさんの食料…
これらはすべて皆様一人ひとりのおかげです。
皆さまが私たちにくださった時間、才能、そして、それらを含めた様々な支援が、
身の回りの問題を笑顔に変えてくれます。

皆様は私たちが住む社会を大きく変えたのと同様に、
私たちが接する人々の生活をも変えてくれました。
今日、私たちは共に私たちの後に続く世代のために、より良い未来を築くことができます。
支援先の皆様に代わり厚く御礼を申し上げます。

Food for all people…
You make these slogans possible. Each hot meal we serve.
Each basket of food we provide.
And each delivery to an orphanage is possible because of you.
You have given us your time, talent, and treasure to make it possible to turn a problem into a smile.
On behalf of all we serve and the staff of Second Harvest Japan,
please accept our humble Thanks.
You have made a difference in the lives of those we touch as well as the larger society we live in.
Together today we can build a better tomorrow
for those who come after us.

Future of Food Banking

フードバンクの未来のために

フードバンクがこの先さらに発展していくために、
私たちがしていることがあります。

Our work to develop food banking

Future of Food Banking
01

農林水産省から食品ロス削減等総合対策事業の一環として「フードバンク運営マニュアル普及事業」を受託

Contract by Ministry of Agriculture, Forest and Fisheries to write first "food bank manual"

フードバンク発展のために感じた共通マニュアルの必要性、多くの協力を得て完成

Operational manual to promote food bank development

広がりを見せ始めたフードバンク活動が正しい形で発展してゆくためには、共通のマニュアル作成が必須と考えており、時期を捉え応募する事に決めました。設立背景、規模、母体、活動形態が異なる全国のフードバンク団体が共通で使用できるマニュアル制作には困難が伴います。そのため連携するフードバンク団体へ相談したところフードバンクセカンドハーベスト沖縄、フードバンクかごしま、フードバンク岡山、フードバンク関西、セカンドハーベスト名古屋、ふうどばんく東北AGAINの6団体から自主的協力の申し入れを頂き、加えて食品を提供くださる企業様や食品を活用している側の各福祉施設様からの協力を得て完成する事ができました。

As we saw food banking gradually spread nationwide, we decided to work with the government to create an operational manual. It was not easy to complete this project, but it was possible with great support from food donor companies, welfare agencies, and six food banks, namely Food Bank Second Harvest Okinawa, Food Bank Kagoshima, Food Bank Kagoshima, Food Bank Okayama, Foodbank Kansai, Second Harvest Nagoya, and Food Bank Tohoku AGAIN.

フードバンクに対する信頼獲得と受益者への寄与のために続く努力

Continuous efforts to establish trust in food banks

現在、農林水産省を始めとする各省庁、さらに複数の行政機関からフードバンク活動への支援の機運が一段と高まりつつあり、2015年4月の生活困窮者自立支援法の施行、子どもの居場所作り活動など、「もったいない食品」はますます必要とされます。そうした中、時宜にかなった形でマニュアルを提供出来る事を嬉しく思いますしかし、私たちは今回のマニュアルが最終形とは考えておりません。今後フードバンク活動が更に発展していけば、より高い水準のマニュアルが必要となります。このマニュアルが各フードバンク団体で活用され、その結果食品関連企業からの信頼を少しでも高め、多くの受益者にとってプラスになれば幸いです。2ＨＪでも食品衛生管理を含めた業務管理レベルを一段と高めてゆきます。

We are delighted to publish this food bank manual as a new law went into place to provide assistance to those in need in April 2015. Food banking is expected to play a key role in the implementation of those governmental policies to support those in need. We hope this manual will be used by each food bank to help them increase trust with food comapnies. We believe the manual will help improve operations as well as increase safety and hygiene standards.

マニュアルダウンロード　https://www.2hj.org/forms/shiryou_download.html

Future of Food Banking
02 セカンドハーベスト・ジャパン・アライアンス（2HJA）への加盟
Second Harvest Japan Alliance

2HJAは全国フードバンク団体のネットワーキングや加盟団体への衛生管理監査/運営サポートを通じて、信頼できるフードバンク活動の普及を推進するために設立された公益財団法人です。セカンドハーベスト・ジャパンは2014年の12月に2HJAの実施する監査を通過し、最初の加盟団体となりました。フードバンク団体は2HJAの加盟要件を満たすことで、寄贈元、寄贈先へ安心・安全で持続性のあるフードバンクであることを示すことができます。現在ではセカンドハーベスト・ジャパンを含めた2団体が監査を通過し正式な加盟団体として登録されており、最終的な調整と監査を待つ準加盟団体が7団体あります。（2015年12月時点）

This is a public-interest foundation incorporated at the Cabinet Office to promote food banking through higher standards and developing a food safety-net. This organisation, along with food banks, food companies, food safety professionals, and overseas food bank professionals created a system to audit food banks for storage, traceability, and hygiene that comply with international standards. Passing this audit wil increase the level of trust by food companies.

2HJA
Second Harvest Japan Alliance

2HJA webサイトはこちら
http://2hja.org/

Future of Food Banking
03 FAB/PABの開催
Food Advisory Board & Professional Advisory Board

FAB（フード・アドバイザリー・ボード）
Food Advisory Board (FAB)

食品企業や関連企業の担当者が集まり、フードバンクや食品業界に関するアイデアを共有する場です。FABは2007年に創設され、2HJの新しい取り組みについて有益なフィードバックを出すだけでなく、寄付を検討している新規企業にとって2HJの活動を知る最初の入り口にもなっています。

Created in 2007, this is an opportunity for representatives from food companies and related industries to meet and share ideas related to food banking and the food industry. This group provides helpful feedback on new initiatives as well as an entry point for potential companies who are considering donating.

PAB（プロフェッショナル・アドバイザリー・ボード）
Professional Advisory Board (PAB)

PABは2003年に創設されました。これは外国人駐在員が集まり、彼らの人脈や経験を駆使してビジネスのやり方に沿った2HJの成長を手助けするもので、外部者によるリアリティーチェックとなるだけでなく、2HJのマネジメントと発展を促進するアドバイスを提供してくれています。

Created in 2003, this group is comprised of professionals who use their networks and professional experience to help us grow using fundamental business principles. It is an opportunity for us to have an outside reality check and give us guidance in managing and growing our organization as a business.

Future of Food Banking
02 アジアフードバンク協会（AAF）への加盟　関係各国との協力体制
Association of Asian Foodbanks (AAF)

2014年10月16日の世界食糧デーに合わせてAAFが発足、2HJもメンバーとなりました。この協会ではアジア各国で活動をする加盟フードバンク団体が活動基準を共有し、自然災害発生時における協力体制を取る事を約束しています。2015年11月、セカンドハーベスト・アジア主導のもと台湾にて加盟団体が集まり、それぞれの取り組みと課題を共有、これからも協力関係を深めていく事を確認する協定書を取交わし、日本国内だけでなくアジア各国でも活動が活性化しているフードバンクの更なる推進に、2HJもAAFのメンバーと共に取組んで参ります。この協会は2016年現在、シンガポール、マレーシア、台湾、韓国、香港のフードバンク、そして2HJで構成されています。

AAFでの調印式の様子 2016年の大会は東京で開催される予定
MOU signing ceremony in Taichung, Taiwan

We are a founding member of AAF. It was formerly established on World Food Day October 16, 2014) when food banks from Korea, Hong Kong, Singapore, Taiwan and Japan signed an MOU outlining the purpose and goals of the association. November 3-5 AAF members met in Taiwan for the fifth annual gathering. Taichung Red Cross sponsored the event and it was a great turnout. The next regional meeting of Asian food banks will be held in Tokyo in November 2016.

Future of Food Banking
04 フードセーフティネット会議（FSN）の定期開催
Food Safety-net Network (FSN)

フードセーフティネットは、食べものを用いた支援の概念であり、また、緊急時にすぐ食品を確保するための様々な支援の体制・活動の総称を指します。「今日、食べるものがない」「明日から食べ物を得ることができない」そうした事態が生じたときに支えとなるフードセーフティネットの構築に向けて、この会議では民間団体や宗教団体などから担当者を招き、定期的に協議を重ねています。今後は行政や社会福祉協議会、スクールソーシャルワーカーや民生委員など、より幅広い立場からの参加者と視点を取り入れ、相互の連携を強化して緊急的に支援が必要な人に食べ物を届ける体制作りを目指します。なお、この会議の様子は2HJのwebサイトからご覧いただけます。

フードセーフティネットの構築に向けて各関係機関の連携を強化
Strengthen the partnership with each organization to establish FSN

This is a network of NPOs, faith-based groups and grassroots organisations that social services and are concerned that those they serve have enough food. We held seven meetings in 2015, starting in March, to discuss the current status of a Japan's food safety-net, foreign examples, and how we can create a safety-net that matches our culture. We will continue to hold these meetings to include more organisations.

支援者からのメッセージ From Our Partners

「食料支援」はホットライン活動に欠かせないもの。

"Food banks have an important role in our hotline services"

遠藤 智子さん / Tomoko Endo
一般社団法人 社会的包摂サポートセンター 事務局長 / Yorosoi Hotline

「よりそいホットライン」は、国の補助金をいただいて実施している24時間無休の何でも電話相談です。連日3万件を超える電話にはライフラインが停まり、所持金も食料もないという相談も沢山あります。そんな時「食料支援を頼みましょう！」と対応しています。2HJの存在にどんなに助けられていることか分かりません。日本のフードセキュリティは脆弱です。いま最も必要とされている皆さんの活動・挑戦に心から期待しています。

Yorisoi Hotline is a subsidized 24-hour hotline service. Every day we receive more than 30,000 calls. We frequently receive calls from people who are suffering because their lifeline has been interrupted or they do not have enough money to buy food. At those times, we are grateful that we can refer them to 2HJ as a way for them to get much needed food. There are no words to express how much it helps to have 2HJ as a referral for our hotline. Food security is an issue in Japan and it is great to have an organization that is confronting it.

フードバンクネットワークの拡大に期待します。

"We are looking forward to the expansion of food banking in Japan."

合田 久輝さん / Hisateru Goda
伊藤 見富法律事務所／モリソン・フォースター外国法事務弁護士事務所（外国法共同事業事務所）弁護士 / Morrison and Foerster

2HJとのお付き合いは、東日本大震災直後に被災者支援についての問合せから始まります。以後様々な情報をご提供頂きながら、当事務所の弁護士、職員一同でできる支援を微力ながら継続しています。2HJが日本におけるフードバンクの草分けとして構築してきたノウハウに加え、緊急時の迅速な対応をも活かしてご活躍されると共に、より多くのコミュニティに認識され、フードバンクネットワークが更に拡大する事を期待しています。

Our first interaction with 2HJ was after the March 11, 2011 earthquake and tsunami. Second Harvest was able to give us information about the disaster while also providing a way for our law firm to get involved in helping those who are in need. 2HJ has been the pioneer of food banking --- not only in how food banks function but also in how food banks can play a major role in times of emergency. 2HJ has created a great community, and we are excited to see the expansion of food banking in Japan.

私はフードバンク活動が好きです。

"I love food banks."

矢野 稔さん / Minoru Yano
元植田製油株式会社 常務取締役 / Former Managing Director, Ueda Oils & Fats Mfg. Co., LTD

2008年にチャールズの講演でこの活動を知り、愛してきた。まだ食べられる廃棄食品の寄贈を食品企業にすすめるのが私の役割。好きでやっていることなので世の為、人の為とも思っていない。自分の為と思っている。恋人に賞賛や謝礼を求める人はいない。ただ愛情が深まるように相手を理解することは必要だ。フードバンク活動を愛する私は、食品企業への説得術も磨きたいし、食に困っている人々への理解を深める努力も続けていきたい。

We found out about 2HJ through one of Charles McJilton`s lectures. Our role is to let other food industries know about how a food bank works and educate them on how food loss can be minimized. We love what food banks do for society, and therefore it is easy for us to inform others about 2HJ. As a company that appreciates food banks, we hope to continue to help others understand how food banks function, and also deepen our own understanding about those that are suffering from food security issues.

強くて優しい絆創膏に。

"To become a strong and sincere Band-Aid"

大原 悦子さん / Etsuko Ohara
ライター・津田塾大学教員 / Writer – Graduate of Tsuda College

みんなが得するというシンプルで前向きなシステムに共感。以来ずっと応援しています。2008年には『フードバンクという挑戦』という本を書きました。フードバンクは絆創膏、所詮は応急処置だと言う人もいます。でも最初は小さな傷口が命を脅かす事態を招くこともあるでしょう。応急処置って大事なんですよね。傷ついた人がすぐ手に入れることができる、強くて優しくて頼りになる絆創膏。2HJはそんな存在であってほしいです。

I was intrigued by the idea of a food bank and how simple and forward looking it is as a system. Since then, I have been supporting 2HJ. In 2008, I wrote a book titled `The Challenges of a Food Bank`. A food bank functions as a `Band-Aid'-like first aid system that helps those who are struggling with food security issues. It is important to have systems that are reliable and trustworthy. I hope to see 2HJ continue its presence in our society.

2HJ様と協力企業様との架け橋にJPRレンタルパレットをご提供します。

"Building bridges of cooperation"

中村 浩太さん / Kota Nakamura
日本パレットレンタル株式会社 / Japan Pallets Rental Corporation

2HJ様の活動において商品が納入される際の手荷役は重労働になります。JPRは納入される商品の積載にレンタルパレットをご利用いただくことをご提案しています。荷降ろし作業が短時間かつ苦労なく倉庫に入庫され、空いたパレットはJPRが回収するという運用を実施しています。少しでも2HJ様の活動がスムースになるよう、協力企業様と2HJ様の架け橋になれるよう、物流面からこれからも協力していきたいと考えています。

With daily food pickups and food deliveries, 2HJ has to deal with a lot of heavy lifting. Our company, JPR has lent our pallets to assist with the lifting and loading process. We hope that these pallets have shortened the time needed for lifting and moving food products around. We aspire to maintain the relationship we have with 2HJ and resolve to continue to help.

無理なく継続的に、たくさんの笑顔を頂けるようお付き合いさせて頂きます!

"We hope our involvement with 2HJ results in many smiles across the nation."

横塚 元樹さん / Motoki Yokozuka
アサヒロジスティクス株式会社 代表取締役社長 / President & CEO, Asahi Logistics

決め手となったのは「無理なく継続的に」というお言葉。食品物流を専門に営む弊社において本業の物流で社会貢献できるお話は非常にありがたく、社員も積極的に取り組んでくれました。弊社従業員の家族向けの物流センター見学会イベントに児童養護施設のお子様を招待した時は、その喜んでいる姿に皆涙を流して感動していました。沢山の学びを得られるよう無理なく継続的に、そして積極的にお付き合いさせて頂きたいと考えています。

The words "Continuous spontaneity" or to be spontaneous but with consistency caught our attention. Our company is in the food logistics business and we are pleased that we can contribute to benefit society by using our expertise. We cherish the enthusiasm our employees demonstrate when they are volunteering. When our some people from our company visited a children's shelter, many of them were moved by the joy their being there brought to the children. We learned a lot from this experience and hope to continue working with 2HJ.

※順不同

支援者からのメッセージ From Our Partners

社会への先行投資。

"An investment for a better future"

山極 信治さん / Shinji Yamagiwa
ブルームバーグ エル・ピー / Bloomberg L.P.

2001年に活動支援を始めて以来、2HJは弊社の多様性と専門性を活かした地域への貢献を可能にしてくれる貴重な存在です。生活困窮者に食品を届けるという大切な役目に加え、被災者支援、現状の食糧問題やフードセーフティネット構築の提起など社会的に有意義な活動の展開に今後とも期待しています。2HJへの支援はよりよい社会への先行投資と捉え、これからも続けていきたいと考えています。

Since 2001, we've enjoyed growing the relationship with Second Harvest Japan. They provided an opportunity to help society using our professional expertise and passion. Second Harvest Japan plays a significant role in establishing a food safety-net to support people in need and to increase public awareness on poverty and food waste. Bloomberg is excited to support this valuable cause and sincerely wishes for its success in reducing poverty. The resources we've dedicated to Second Harvest Japan was not a burden, but an investment in a better future.

フードバンク活動の日本での展開をサポート。

"Supporting the development of the food banking"

ブレット・ダンドイさん / Bret Dandoy
ドイツ銀行グループ カントリーCOO / Country Chief Operating Officer, Deutsche Bank Group

震災後、ボランティア活動で被災地を訪れるたびに2HJの活動を目にし、「フードバンク」の重要性を痛感しました。2HJは与えられたリソースを最大限に活用します。私たちが支援したた宮城県石巻市の拠点開設および東京の本部施設の拡張も、期待通りの効果を発揮しています。そして、「ソーシャル・イノベーション・ファンド」の創設により、今後の活動がさらに広がることを期待しています。

The March 2011 disaster made clear the value of a food bank charity, as our staff on the ground encountered Second Harvest getting supplies through to Tohoku residents in need. Second Harvest makes the most of what it is given, and our sponsorship of the Ishinomaki facility and expansion of the Tokyo headquarters has helped it bring greater relief to those in need. With our support for Second Harvest's Social Innovation Fund, we are certain that 2015 will see it boost momentum for the food bank movement across Japan's regions to the greater benefit of all.

人生をも変えるフードバンク活動に賞賛の意を。

"Making a difference in many lives"

ボブ・トービン博士 / Dr Bob Tobin
作家、元慶応義塾大学教授 / Author and Professor Emeritus, Keio University

2HJは、単なる食べ物を扱っている団体ではない。私は何年もこの団体のことを知っているが、2HJが行う活動が人々の生活を変え、またその人々の人生までをも変えていることは明らかだ。人は食事を受け取り、そして変わっていく。2HJが大きな変化を遂げる新たな1年を迎えられたことに、賞賛の意を示したい。おめでとう。

Second Harvest is about more than food, although that's a good start. In the years I've known about Second Harvest, it's clear that what Second Harvest does is change lives and change life stories. People are transformed as they are fed. Congratulations on another year of making a big difference.

2HJの先駆的な活動は後進の模範となっている。

"Second Harvest Japan's pioneering work sets the standard for others"

ロン・チョイさん / Ron Choi
J.P. モルガン証券株式会社 エグゼクティブ・ディレクター / Philanthropy Committee Chair, J.P. Morgan Japan

2HJは、社会が取り組んでいないニーズに革新的かつ組織的に長年対応し、実績を重ねており、慈善活動に携わっている多くの人々に様々な刺激を与えています。食糧を確保し、恵まれない人々に配るフードバンク活動を持続可能なモデルへと発展させたその先駆的活動は、後進の模範となっています。J.P. モルガンは2009年より2HJを支援し、複数のプロジェクトに社員が参加しており、今後もその活動を支援していく所存です。

Second Harvest Japan has been the source of inspiration for many involved philanthropy and has a long track record of meeting the needs not addressed by the society at large through their innovative, professional, and systematic approach. Their pioneering work in developing a sustainable model to acquire and distribute food for the less fortunate has set the standard for others to follow. J.P. Morgan has been a supporter since 2009 and our employees have participated in several projects in Tohoku and Ueno Park. We look forward to our continued partnership.

衛生管理についてアドバイスさせていただいています。

"Helping our partners maintain hygienic standards"

イェンス・モスカーさん / Jens Moesker
シャングリ・ラ ホテル東京 総支配人 / Shangri-La Hotel, Tokyo General Manager

シャングリラ・ホテル東京では、社員の知識やスタッフをはじめ、我々のリソースを最大限に活用し、支援先のニーズにできるだけお応えするよう、努めています。例えば、キッチンやオフィスの衛生管理についてのアドバイス、使わなかった食材や未使用のシャンプー、コンディショナーの寄付、卸売業者を紹介するなどコスト面でも支援をさせていただいています。引続き多面的にサポートさせていただければ何よりです。

At Shangri-La Hotel, Tokyo, we work together with Second Harvest Japan by sending our staff to provide our knowledge and support in purchasing. For instance, we advise on maintaining hygienic standards at kitchens and offices and donate un-used food and amenities while we also introduce wholesale companies to help them reduce purchasing cost.

「全ての人に食べ物を」を体験する絶好のチャンス。

"A perfect opportunity to experience the 2HJ vision."

パーリントン・ケビンさん / Kevin Parrington
日本オラクル株式会社 / Vendor Relationship Manager Logistics Customer Service

長年に渡り土曜日のハーベストキッチンとパントリーで、東日本大震災の被災者や食べ物を必要とする方々に送る食品を、パッケージにするボランティアをしています。私がここで参加しているハーベストキッチンとパントリーの活動は、2HJのビジョンである「全ての人に食べ物を」を体験する絶好のチャンスであり、「もったいない」を「いただきます」に変えていく事が出来ます。

Over the years I have volunteered for Saturday Harvest Kitchen, Harvest Pantry and prepared food packages for people in need and victims of Tohoku earthquake and tsunami. Participating in Harvest Kitchen and Harvest Pantry activities is a perfect opportunity to experience the 2HJ vision; 'Food for all people' and you can turn 'motainai' into 'itadakimasu'.

※順不同

スタッフ　Staff Introductions

マクジルトン・チャールズ
Charles E. McJilton

CEO

Executive Director / Food bank Team Manager

この仕事は、一生に一度出会えるかどうかの仕事だと思っています。素晴らしい人達と一緒に、新しいコンセプトをこれまでにないやり方で開拓しているのですから。日本は、私に多くのものを与えてくれました。これが、私の小さな恩返しです。私の元気の秘密は、スパムをたくさん食べることです。

This job is a once in a lifetime opportunity: pioneering a new concept in a unique way with great people. Japan has given me so much. This is a small way to give back. My secret in life is eating plenty of SPAM.

増田 和久　Kazuhisa Masuda

フードバンク部 部長　食品衛生責任者

Food Bank Manager
Licensed in Food Safety and Hygiene

イタリア生活が長く、黄色くなった古本を大切に読むような、「物」を大切にする文化が好きです。その延長で、「食べ物」を大切にし、それを必要とする方に届けるという活動に携わり始めました。今では「すべての人に、食べ物を」の理念達成へ一歩でも近ずけるよう全力投球中です。

As I lived in Italy for long time, I became fond of a culture that cherished things such as enjoying dusty yellow books. So, I naturally started getting involved in activities of taking care of "food" and distributing it to the needy. I now make every effort to get any closer to an ideal of "food for all".

出上 聡美　Satomi Degami

ボランティアコーディネーター

Volunteer Coordinator

以前より家族と2HJのボランティア活動に参加、スタッフとして転職した新人。関西人の「もったいない」精神と、日米両国での様々なボランティア経験を活かし、ボランティアの皆さんともっと2HJの活動を広めていきたいと思います。元外資系コンサルタント。好きな食べ物はパリパリの海苔！

I would like to develop ways volunteers can be more involved in 2HJ, combining my own volunteer experiences with “mottainai” sprit, as Osaka native. A friend was a volunteer leader, so family started volunteering at 2HJ once my son was old enough. I recently joined 2HJ after a career in consulting and finance.

金澤 とし江　Toshie Kanazawa

総務部／マネージャー

Manager / General Affairs

2HJとの関わりは企業ボランティアとして6-7年前からでした。昨年12月から今度は2HJの中に入って勤務しています。食べ物を無駄にしない、それを必要としている人々がいる。その橋渡し。そして、いろいろな人々と此処では会える。

I know 2HJ since from 6 years ago as a volunteer of ex-company. Now leaning the way to avoid wasting the foods, support the people as a Admin staff from Dec 2015. Also starting to know many warm hearted peoples here as Volunteers, donators and the colleagues.

會田 博志　Hiroshi Aita

施設管理 / WEBサイト管理　食品衛生責任者

Facilities Manager / Pantry Coordinator
Licensed in Food Safety and Hygiene

食う寝るところに住むところ…。何も食べずに生きていくことが、ぼくらには出来ない。食事を作ったり、食べたりが好きだから、この仕事をしています。コンピュータ畑からの転職。猫好き。

A place to eat sleep and live.... No one can live without food. I work here because I've always loved cooking and eating. I came to Second Harvest Japan after a career in IT. I also love kitties.

石川 廣美　Hiromi Ishikawa

経理

Office Manager

年をとっての仕事探しで困っていた所、前職での経験が活き、ひょんな事から2HJに拾って頂いた新人。この様な活動がある事さえ知らなかった私は驚きと戸惑いの連続、周りのスタッフやボランティアの皆様の優しさに頭の下がる思いです。好きな食べ物は、田舎の文旦！

I'm a rookie who came to Second Harvest Japan in an unusual way when I had a hard time finding a job. They believed my experience would help them. Actually I didn't know much about what they did, so I've often been surprised and puzzled since I joined. I really respect the kindness of staff and volunteers.

武田 幸佳　Sachika Takeda

ハーベストキッチン　管理栄養士

Harvest Kitchen / Registered Dietitian

前職の社員食堂に勤務していたときに、ドキュメンタリー映画を観てフードバンクを知りました。学生時代から飲食や食品の分野に携わってた私はその活動に驚き、2HJでボランティアからはじめました。2HJが橋渡しをする食品には、栄養素で表せないエネルギーがたくさん入っていることを実感する毎日です。

I first learned about food bank from a documentary film, when I worked for a company cafeteria. It was eye opening, and my curiosity lead me to contact 2HJ and became a volunteer. I believe that food 2HJ serves has a lot more than “nutrition values” printed on label.

杉山 祥子　Shoko Sugiyama

パントリー / マネジメント・チーム

Pantry Coordinator / Management Team

以前は女性と子どものシェルターで働いていました。新しく生活を始める親子にとって、2HJの存在は食べ物以上のものでした。「誰かが気にしてくれている、一人じゃないって思える」そんな声を大切にしながらやっていきたいです。

Before joining 2HJ, I worked at a shelter for women and children. 2HJ's effect on those mothers and their children was greater than simply the food it provided. I want to make sure that 2HJ keeps providing not only food, but the sense that “someone cares for me and I am not alone.”

スタッフ　Staff Introductions

芝田 雄司　Yuji Shibata

パントリー
Pantry Coordinator

新聞で2HJを知り、以前から食品ロスの問題に興味があったので「これはやらなきゃ！」と思い、すぐにボランティア登録。施設への食品配送ボランティアを行う。震災を機に2HJに転職。石巻プロジェクト担当として現地で奮闘中。

I had always been interested in food loss, so when I read about 2HJ in the newspaper I thought, "I have to be a part of this!" and immediately began volunteering by delivering food to welfare agencies. I joined 2HJ as staff after the Tohoku disaster, and I am now struggling along as the leader of the Ishinomaki Project.

坂本 瑶子　Yoko Sakamoto

フードバンク部　食品衛生責任者
Food Bank Team
Licensed in Food Safety and Hygiene

「食べることに困る人がいる一方で、食べ物を捨てるなんてもったいない！」子どもの頃から抱き続けていた素朴な感情に突き動かされ、全く異業種から転身。これまでの営業職経験と双子含む3児の母業で鍛えられたパワーで、贈る人も食べる人もみんなが嬉しい“食をつなぐインフラ”作りに邁進します。

I have always felt a sense of regret about food waste, especially when there are those in need. Those feelings eventually led me to 2HJ. With my prior "sales" experience and "mom" power (3 kids including twins), I would like to build a better infrastructure that would make both donors and recipients happy!

菊地 章子　Akiko Kikuchi

フードバンク部
Food Bank Team

介護のため一旦離職しましたが、2015年10月よりまた復帰しています。時の流れを痛感しつつも・・初心を忘れず、一貫した理念のもと、日本で最初のフードバンク団体の一員として誇りを持って活動していきたいと思います。楽しく前向きに！関わるひとすべてがHAPPYになれますよう！

I returned to 2HJ in October 2015 after taking a leave to nurse a family member. Time goes by, but I try not to forget my first resolution and enjoy working as a proud staff at 2HJ, the first food bank in Japan. Be positive and have fun - and make everyone happy!

伊藤 令華　Reika Ito

フードバンク部　食品衛生責任者／倉庫管理主任者
Warehouse Manager
Licensed in Food Preparation and Food Safety and Hygiene

3.11の震災を機に現実の社会の課題と向き合おうと決め、大学卒業後2HJへ就職。捨てられる運命にあった食品がおいしい食事となり、食べること以上の価値を生みます！日々の食品運びでだんだん腕がムキムキに…

After 3.11 I decided to get involved with social problems. I joined 2hj after graduating from university. It is great to see food destined for the dumpster have their value restored and consumed by people. Since starting here my arms have become bigger from all the carrying of boxes.

松本 隆　Takashi Matsumoto

フードバンク部
Food Bank Team

TVの報道で2HJ活動を知り、社会に貢献が出来ればと思い、会社を退職後に配送ボランティアに参加しました。その際に、施設側の感謝の言葉を耳にして、やりがいを感じておりました。その後に、前任者の退職を知り、も少し多くの方々との関わりを持ちたいと思いスタッフとして参加する事にしました。

After retirement, I first joined as a volunteer driver after learning about 2HJ on TV, as a way of giving back. Gratitudes expressed by recipients were so rewarding. I did not hesitate to apply to become a staff of Food Bank department with hope to be more involved.

高橋 寛明　Hiroaki Takahashi

フードバンク部　大型自動車二種免許
Food Bank Team
Large-sized motor vehicle second-class license

TV報道で2HJの活動を知り、食品配送のボランティアに参加。捨てられる運命にあった食品を様々な状況の人に届け、美味しく食べてもらい沢山の笑顔が生まれる。こんな素晴らしい活動を少しでも支えて行けたらと思い、スタッフに転向。毎日2tトラックにて多くの施設に食品を届けています。

After I saw Second Harvest Japan on TV, I volunteered for the food delivery program. I soon wanted to be committed more to this wonderful activity of distributing donated food to those in need. I became a paid worker there. Now I distribute food in a two-ton truck every day.

金城 雅夫　Masao Kinjo

フードバンク部
Food Bank Team

2HJの活動を知ったのは前職の仕事中に聴いた、NHKのラジオ放送でした。チャールズさんの活動は、「体力以外に何の取柄もない私に出来る事はこれだ！！」との思いで、私も活動に参加させて頂いて今に至ります。

I got to know about Second Harvest Japan from an NHK radio program, when I worked for my former employer. Charles's talk in the program made me realize that food bank is really suitable for me, a man who is no good for anything but heavy physical work. Since then I have worked for Second Harvest Japan.

西岡 真菜　Mana Nishioka

政策提言と発展
Advocacy and Development

学生時代から国際協力に興味がありカンボジアやベトナムなどに何度か行くが、外を知るたびに日本国内の貧困や社会問題に次第に関心をもつようになった。自分の国で起きている現実を学ぶため、一般企業から転職。エスニック料理、雑貨好きで、時間が出来ると、暖かい南の国に行きたくなる衝動がある。

Traveled South Asia to see and know about the reality of poverty. However the more I visit and see the realities I realized poverty and other social problems exist even in Japan. After working at a Japanese company, joined the Second Harvest Japan from this year. Loves ethnic food and traveling Asia.

河田 了　Akira Kawada

情報システム担当
調理師・食品衛生責任者／倉庫管理主任者
Warehouse Manager / Licensed in Cook, Food Preparation and Food Safety and Hygiene

ひきこもり時代にこっそり通った図書館で『フードバンクという挑戦』(大原悦子著)に感動し2HJでフルタイムのボランティアを始める。3.11後スタッフになり社会復帰させてもらった恩返しをすべく業務に励む。

During my time as a hikkikomori, I happened to find the book "The Challenge of Food Banks" by Etsuko Ohara in a library that I was slipping past, and I started volunteering at 2HJ fulltime. I became a staff member after 3.11 and I now work in gratitude for the opportunity I received to return to society.

田中 入馬　Iruma Tanaka

政策提言と発展
Advocacy and Development

食べる事は喜びであり、健康を維持し、命を繋ぐ事です。お金がなくなって明日食べるものがない時、家族や知人に頼れなければ、食べ物へのアクセスがなくなって命の危機を感じるのが今の日本の社会だと思います。未来を築く子ども達にそんな社会を残したくないと思って活動しています。

Food is a pleasure. Food is what keeps you alive and healthy. Imagine if you are broke in Japan and have nobody to rely on. You would have no access to food and your life would be threatened. That is not the kind of society I want the children in Japan to be raised so I'm working here to make a change.

高原 恵　Megumi Takahara

ボランティア・コーディネーター / マネジメント・チーム
食品衛生責任者
Volunteer Coordinator / Management Team
Licensed in Food Safety and Hygiene

美味しい食事は世界を平和にできる、という母のもとに育つ。ボランティアの皆さんとチーム一丸となって、毎回楽しく活動しています。土曜日の炊き出しでは主に味見担当！？

My mother instilled in me the belief that good food could bring about world peace. Everyday I unite with volunteers and enjoy working for our cause. You could probably call me the taste tester for our Saturday soup kitchen?

末永 博　Hiroshi Suenaga

パントリー
石巻駐在スタッフ 石巻プロジェクト担当
Ishinomaki Project Coordinator

2011.3.11以前から2HJの活動を知っており震災を機に石巻にも拠点ができ、活動に参加させていただいてます。震災発災から4年目を経過した被災地では生活を取り巻く環境も日々変化しております。今後は地域に根差した被災地での生活困窮者支援の為のネットワークの強化を目指します。

I'd heard about Second Harvest Japan before the 3.11 disasters. Since they set up the Ishinomaki office, I've worked there. Four years have passed and the environment in Ishinomaki is changing every day. The Ishinomaki office will focus on the development of a community-based life support network for the needy in the area.

役員 Board

マクジルトン・チャールズ Charles E. McJilton

理事長 Chairman of the Board

資金調達者、演説家、日本においてのフードバンキングの促進者です。

Charles is our founder and continues to wear many hats.

ガスキンス・リーランド Leland Gaskins

理事 Trustee

プロフェッショナル・アドバイザリー・ボードの最初のメンバーとして、2HJが財務モデルや成果測定規準を作る際や事業計画の更新をする際に、米国フードバンクの例を参考に中心となって活躍してくれました。2005年7月からアジアにおいてノースカロライナ州の海外投資誘致を担当し、米国における投資プロジェクトに関してアジアの企業をサポートしています。

Leland Gaskins is Investment Representative in Asia for the State of North Carolina, a position he has held since July 2005. His work involves assisting Asian firms with their capital investment projects in the United States as well as general duties representing the North Carolina Department of Commerce and Governor's Office to businesses and governments in the region. As an original member of the Professional Advisory Board, Leland played a key role in creating 2hj's first financial model and key metrics based on food bank operations in the US and updating our business plan. He continues to be a valuable source of knowledge concerning good business practices.

ジョン・ベイルズ John Bayles

理事 Trustee

アリサンオーガニックセンター／テングナチュラルフーズの創設者兼オーナーであるジョンは、自身の食品輸入業者・販売者としての経験や知識に基づいた価値あるアドバイスを長い間に渡ってセカンドハーベストに提供しています。アリサンでは、顧客が買い物の際にセカンドハーベストに物品寄付をするとアリサンがそれと同額の物品寄付をするという"善意の共有"を行っています。これにより、ジョンは他の企業に対する先導となっているのです。

Founder/owner of Alishan Organic Center/Tengu Natural Foods, John has long provided valuable guidance to us based on his own experience and knowledge as a food importer and distributor. John sets an example for other companies by allowing his customers to "share the goodness" by donating while they shop—and matching the contributions. He is an original member of the Professional Advisory Board.

ガードナー・リチャード Richard A. Gardner

理事 Trustee

ガードナー・リチャードは、上智大学の国際教養学部にて、30年以上にわたり宗教や様々な科目を教えてきました。そして、同大学の国際教養学部部長や、夏期授業のディレクターも務めてきました。また、米国のミシガン州カラマズーを拠点とするフェッツァー・インスティチュートの教育諮問協議会の委員でもあります。

Richard A. Gardner has taught religion and a variety of other subjects over the last 30 years in the Faculty of Liberal Arts at Sophia University. He has also served as Director of the Summer Session as well as Dean of the Faculty of Liberal Arts. He has also served on the Education Advisory Council of the Fetzer Institute, which is based in Kalamazoo, Michigan.

イーライ・デービッド Eli David

理事 Trustee

イーライ・デービッドは45年近くにもわたり、高度技術や通信分野でのプロジェクトに携わった経験があります。彼は現在、日本においてイスラエルのハイテク企業向けのコンサルティングや事業開発を行っており、2008年には自身が役員を務めるオリノコファンデーションを通じて2HJの活動に関わるようになりました。

Eli David has nearly 45 years experience in Japan involved in high-tech and communication projects. He currently is involved with consultancy and business development for Israeli hi-tech companies in Japan. He became involved with Second Harvest Japan in 2008 through The Orinoco Foundation, which he is a board member.

エリック・ゴールデン Eric Golden

理事 Trustee

エリック・ゴールデンはフォートレス・インベストメント・グループ 日本オフィスのマネージングディレクターであり、2003年に2HJのボランティアに参加したことが私たちとの最初の出会いでした。2011年からはPABメンバーとして加わり、現在は2HJの理事を務めています。

Eric Golden is a Managing Director at Fortress Investment Group (Japan). Eric first volunteered at Second Harvest Japan in 2003 and joined the advisory board in 2011 and is now on the Board.

安田 淳子 Junko Yasuda

理事 Trustee

2009年セカンドハーベスト・ジャパンに入り、バックオフィス業務のほかパントリー業務の責任者として東北大震災で被災・全国各地に避難した方々へのパントリーパッケージを担当しました。2015年より理事として協力しています。

Since Yasuda joined in 2HJ in 2009, she had been working in back office and was a person in charge of pantry packages for refugees of the Tohoku Earthquake as a chief of Pantry team. She became a trustee in 2015.

ご支援いただいた皆さま Donors

2015年度中に寄付や食品、物品の寄贈、ボランティア参加、また物流面での支援など、
様々な形で活動を支えてくださった皆様の中から一部をご紹介いたします。
We are very grateful to have these partners help us make our work possible.

食品サポーター Food Donors

キッコーマン株式会社 Kikkoman Corporation	サントリーホールディングス株式会社 Suntory Holdings Limited	西友／ウォルマート・ジャパン SEIYU/Walmart Japan
株式会社ニチレイフーズ NICHIREIFOODS INC.	日本生活協同組合連合会 Japanese Consumers' Co-operative Union	株式会社モスフードサービス MOS FOOD SERVICES, INC.

アサヒ飲料株式会社 ASAHI SOFT DRINKS CO.Ltd.	アサヒフードアンドヘルスケア株式会社 ASAHI FOOD & HEALTHCARE CO., LTD.	アリスタ フード ソリューションズ ジャパン株式会社 ARYZTA Food Solutions Japan Co., LTD	アルファフーズ株式会社 Alpha Foods Co.,Ltd.	株式会社壱番屋 ICHIBANYA CO., LTD.
エスビー食品株式会社 S&B Foods Inc.	オイシックス株式会社 Oisix Co., Ltd.	カルビー株式会社 CALBEE,inc.	キユーピー株式会社 Kewpie Corporation	ケンコーマヨネーズ株式会社 KENKO Mayonnaise Co., Ltd.
生活協同組合連合会 コープネット事業連合 CO-OP NET BUSINESS ASSOCIATION	コストコホールセールジャパン株式会社 Costco Wholesale Japan, Ltd	株式会社スミフル SUMIFRU CORPORATION	JA全農たまご株式会社 JA ZEN-NOH Tamago Co.,Ltd.	株式会社 大地を守る会 Daichi wo Mamoru Kai Co., Ltd

ダノンジャパン株式会社 Danone Japan Co., Ltd.	東京地下鉄株式会社 Tokyo Metro Co., Ltd.	東洋水産株式会社 Toyo Suisan Kaisha,Ltd.	株式会社ドール Dole Japan, Inc.	株式会社 中村屋 NAKAMURAYA CO.,LTD.
日仏貿易株式会社 NICHIFUTSU BOEKI K.K.	日本ケロッグ合同会社 KELLOGG (JAPAN) G.K.	日本水産株式会社 Nippon Suisan Kaisha, Ltd.	日本たばこ産業株式会社 JAPAN TOBACCO INC.	ネスレ日本株式会社 Nestlé Japan Ltd.
ハーゲンダッツ ジャパン株式会社 Häagen-Dazs Japan,Inc.	パルシステム生活協同組合連合会 Palsystem Consumers' Co-operative Union	マルハニチロ株式会社 Maruha Nichiro Corporation	株式会社ミトク MITOKU CO., LTD	らでぃっしゅぼーや株式会社 Radish Boya

味の素株式会社 / AJINOMOTO CO., INC.
大塚食品株式会社 / Otsuka Foods Co., Ltd.
尾西食品株式会社 / Onisi Foods Co., Ltd.
株式会社カタログハウス / CATALOGHOUSE Ltd.
株式会社カナエフーズ / Kanae Foods Company Ltd.
株式会社 河本総合防災 / Kawamoto sogo bosai Co., LTD.
J.P.モルガン / J.P. Morgan
シマダヤ株式会社 / SHIMADAYA CORPORATION
株式会社東京商工社 / TOKYO SHOKOSHA Co.,Ltd
東京デリカフーズ株式会社 / Tokyou DELICA FOODS CO., LTD
株式会社ハートフード / HEART FOOD CORPORATION
ハインツ日本株式会社 / Heinz Japan Ltd.
ひかり味噌株式会社 / HIKARI MISO Co., Ltd.
福山醸造株式会社 / Fukuyamajyozo Co.,LTD
株式会社船昌 / FUNASHO CO.,LTD.
株式会社 鮒忠 / FUNACHU Co.,Ltd.
MIE PROJECT株式会社 / MIE PROJECT Co., Ltd.
株式会社みずほフィナンシャルグループ / Mizuho Financial Group, Inc.
ミドリ安全株式会社 / MIDORI ANZEN CO.,LTD
ヤマサ醤油株式会社 / YAMASA CORPORATION

ご支援いただいた皆さま Donors

資金サポーター Financial Donors

ニュー スキン ジャパン 株式会社
Nu Skin Japan Co., Ltd.

シャングリ・ラ ホテル 東京
Shangri-La Hotel, Tokyo

西友／ウォルマート・ジャパン
SEIYU/Walmart Japan

サンディスク株式会社
SanDisk Limited

J.P.モルガン
J.P. Morgan

BNYメロン
BNY Mellon

モルガン・スタンレー
Morgan Stanley

Orinoco Foudation

Fresh Pacific Fruit & Vegetable, Inc.

キャンポスブラザーズファームス
Campos Brothers Farms

連合・愛のカンパ
Rengo Ai no Kampa

プリンシパル・グローバル・インベスターズ株式会社
Principal Global Investors (Japan)Ltd.

Salesforce.org

Tokyo American Club Women's Group

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社
Applied Materials Japan, Inc.

ALISHAN

アドビ システムズ株式会社
Adobe Systems Co., Ltd.

シスコシステムズ合同会社
Cisco Systems G.K.

学校法人 渋谷教育学園 幕張中学校・高等学校
MAKUHARI JUNIOR AND SENIOR HIGH SCHOOL

三和グループ社会貢献倶楽部
Sanwa Group Social Contribution Club

Casa inc.

グリフィスフーズ株式会社
Griffith Foods K.K.

一般財団法人日本メイスン財団
Masonic Foundation of Japan

Yoshinori Nagase

The American School in Japan
株式会社ワンダーテーブル / Wondertable, Ltd.
日本聖公会東京教区聖オルバン教会 / Saint Alban's Anglican-Episcopal Church
サントリーフーズ株式会社 / SUNTRY FOODS LIMITED
BNPパリバ証券株式会社 / BNP Paribas Securities (Japan) Limited
特定非営利活動法人TABLE FOR TWO International / TABLE FOR TWO International
リンベル株式会社 / RINGBELL Co.,Ltd
キユーピーグループ マッチングギフト ＱＰｅａｃｅ / ＱＰｅａｃｅ
順天中学校・高等学校 / Junten Junior High School・Junten Senior High School
ゴールドマン・サックス証券株式会社 / Goldman Sachs
株式会社ジャパンビバレッジホールディングス / Japan Beverage Holdings Inc.
EMCジャパン株式会社 / EMC Japan K.K.
特定非営利活動法人WE21ジャパン / WE21 Japan
日本ケロッグ合同会社 / KELLOGG (JAPAN) G.K.
JK GROUP, INC. / JK GROUP, INC.
有限会社エコネックス / ECONEX
株式会社良品計画 / Ryohin Keikaku Co.,Ltd.
板橋区 いなほ会 / Itabashi-ku Inaho kai
三和化学研究所労働組合 / SANWA KAGAKU KENKYUSHO UNION
モリソン・フォースター外国法事務弁護士事務所／伊藤 見富法律事務所 / Morrison & Foerster LLP.

Akira Takase
Kazue Gomi
Kazuko Igarashi
Jonathan Payne
Takayuki Hirota
Akira Nemoto
Eri Yokomichi
Kuniko Minakawa
Keiichi Sato
Isao Shibata
Tatsuya Higuchi
Tomoko Katsuragawa
Katsuji Natsume
Ayako Sakurai
Kinue Matsumura
Mariko Tsuchiya
Sachiko Aoki
Etsuko Isomura
Tommoichi Enomoto
Tomoko Kono
Shinya Sasakawa
Minoru Shimao
Naoki Shiraishi
Naomi Suzuki
Yuichiro Nakazato
Tomoyuki Nakano
ellen eiko mashiko
Keisuke Mochizuki
Satoko Yamanaka
Kentaro Amada
Matsunori Ushida
Hideo Nishimura

その他のサポーター In-kind Donors

アサヒロジスティクス株式会社
ASAHI LOGISTICS

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社
Applied Materials Japan, Inc.

The American School in Japan

ALISHAN

Casa inc.

株式会社カーブスジャパン
Curves Japan Co.,Ltd.

サンディスク株式会社
SanDisk Limited

一般社団法人
社会的包摂サポートセンター
General Incorporated Association Social Inclusion Support Center

シャングリ・ラ ホテル 東京
Shangri-La Hotel, Tokyo

株式会社ストレート
Corporation Straight

住友金属鉱山株式会社
Sumitomo Metal Mining Co., Ltd.

清泉インターナショナルスクール
Seisen International School

Salesforce.org

セカンドハーベスト・アジア
SECOND HARVEST ASIA

世田谷区
Setagaya City

DHLグローバルフォワーディングジャパン株式会社
DHL Global Forwarding Japan K.K.

ニチレイロジグループ
NICHIREI LOGISTICS GROUP INC.

日本パレットレンタル株式会社
Japan Pallet Rental Corporation

日本ユダヤ教団
The Jewish Community of Japan

FEEDMORE

ブルームバーグ エル・ピー
Bloomberg L.P.

プロティビティLLC
Protiviti LLC

文京区
Bunkyo City

ホーガン・ロヴェルズ法律事務所外国法共同事業
Hogan Lovells Horitsu Jimusho Gaikokuho Kyodo Jigyo

三越伊勢丹グループ労働組合
Isetan Mitsukoshi Group Labor Union

モリソン・フォースター外国法事務弁護士事務所／伊藤 見富法律事務所
Morrison & Foerster LLP.

UNITED CAB

労働者福祉中央協議会
The National Council of Worker's Welfare

会計報告（2015年1月1日～2015年12月31日） Financial Report for the year ending December 31, 2015

1. 活動計算書（簡易版） Revenue and Expenditure The following is a short version of the Statement of Activity

（単位：円 / In Yen）

科目 / Description			金額 / Amount		
I 経常収益 Revenue					
1 受取会費 Membership Revenue		会員受取会費 Membership Fee Received	18,000	18,000	
2 受取寄付金 Donation Received		受取寄付金 Donation	91,867,206		
		施設の提供等受入評価益 Estimated Value of Facilities	3,726,000		
		寄贈食品受入評価益 Estimated Value of Donated Foods	553,290,714		
		ボランティア受入評価益 Estimated Value of Volunteer Service	28,695,485	677,579,405	
3 事業収益 Business Revenue		政策提言による事業収益 Income from Adovocacy Activities	425,560	425,560	
4 その他収益 Other Income		受取利息 Interest	6,080		
		雑収入 Miscellaneous	80,576	80,576	
経常収益計 Total Revenue					**678,109,621**
II 経常費用 Expenditure					
1 事業費 Operating Expenditure	(1) 人件費 Salaries	ボランティア評価費用 Estimated Value of Volunteer Service	28,506,205		
		その他人件費 Other Salaries	40,948,433		
		人件費計 Total Expenditure for Salaries	69,454,638		
	(2) その他経費 Other Expenditure	その他経費計 Total Other Expenditure	604,319,653		
	事業費計 Total Expenditure			673,774,291	
2 管理費 Administrative Expenditure	(1) 人件費 Salaries	ボランティア評価費用 Estimated Value of Volunteer Service	189,280		
		その他人件費 Other Salaries	11,783,946		
		人件費計 Total Expenditure for Salaries	11,973,226		
	(2) その他経費 Other Expenditure	その他経費計 Total Other Expenditure	6,370,275		
	管理費計 Total Administrative Expenditure			18,343,501	
経常費用計 Total Expenditure					**692,117,792**
当期経常増減額 Difference between Revenue and Expenditure					**-14,008,171**
III 経常外収益 Non-recurring Gain					
経常外収益計 Total Non-recurring Gain					**0**
IV 経常外費用 Non-recurring Expenditure					
経常外費用計 Total Non-recurring Expenditure					**0**
税引前当期正味財産増減額 Pretax Increase of Net Assets					**-14,008,171**
法人税、住民税及び事業税 Corporate Tax, Resident Tax and Business Tax					**0**
当期正味財産増減額 Increase of Net Assets					**-14,008,171**
前期繰越正味財産額 Begginning Balance of Net Assets					**115,762,439**
次期繰越正味財産額 Ending Balance of Net Asset					**101,754,268**

※計算書類の作成は、東京都に提出する活動報告書の書式に則り、NPO法人会計基準によっています。固定資産の減価償却は、建物は旧定額法、その他の有形固定資産は定率法、無形固定資産は定額法によっています。消費税等の会計処理は税込法によっています。　※施設の提供等の受入の評価は提供された施設の使用料金表により算定しています。寄贈された食品の評価は総務省統計局の主要品目の都市別小売価格東京都23区（2015年12月）により算定し、その60％を評価額として計上しています。ボランティアの役務の評価は東京都の最低賃金を基準に算定しています。　※活動計算書および事業別収支の詳細は、当団体ウェブサイトでご覧いただけます。

※The financial statements were made following the NPO standard using the templates required by the Tokyo Metropolitan Government. ※Depreciation of fixed asset: old straight-line method for building; declining balance method for physical fixed asset; and straight-line method for non-physical asset. ※Consumption tax is included in Financial Statements. ※Evaluation of acceptance of facilities are based on the price list of the offered company. ※Evaluation of the donated foods are based on the retail prices of Tokyo 23 wards for the major items listed by the Ministry of Internal Affairs and Communications, Statistic Bureau (December 2015). And recorded 60% of the listed price as a valuation. ※Evaluation of the services of volunteers are based on the minimum wage in Tokyo. ※Financial Statements, Revenue and Expenditure of each business are available at the web site of 2HJ.

2. 貸借対照表 Financial Statement As of December 31, 2015

（単位：円 / In Yen）

科目 / Description				金額 / Amount		
I 資産の部 Assets						
1 流動資産 Current Assets	現金預金 Cash Equivalent			91,020,453		
	前渡金 Advance Payment			4,875,612		
	立替金 Advanced Expenses			153,785		
	仮払金 Suspense Payment			332,058		
	前払費用 Prepaid Expenses			3,386,880		
	流動資産合計 Total Current Assets				99,768,788	
2 固定資産 Non-current Assets	(1) 有形固定資産 TangibleFixed Assets	建物付属設備 Equipments Attached to Buildings		1,962,325		
		車両運搬具 Vehicles and Transport Equipments		3,352,834		
		什器備品 Fixtures and Fittings		821,440		
		有形固定資産計 Total Tangible Fixed Assets		6,136,599		
	(2) 無形固定資産 Intangible Fixed Assets	ソフトウェア Software		239,400		
		無形固定資産計 Toal Intangible Fixed Assets		239,400		
	(3) 投資その他の資産 Other Assets	敷金 Deposits		2,951,000		
		投資その他の資産計 Total Other Assets		2,951,000		
	固定資産合計 Total Non-Current Assets				9,326,999	
資産合計 Total Assets						**109,095,787**
II 負債の部 Liabilities						
1 流動負債 Current Liabilities	未払金 Accrued Expenses			6,545,168		
	預り金 Deposits Received			796,351		
	流動負債合計 Total Current Liabilities				7,341,519	
2 固定負債 Non-current Liabilities	固定負債 Non-current Liabilities			0		
	固定負債合計 Total Non-current Liabilities				0	
負債合計 Total Liabilities						**7,341,519**
II 正味財産の部 Net Assets						
前期繰越正味財産 Beginning Balance of Net Assets					115,762,439	
当期正味財産増減額 Increase of Net Assets					-14,008,171	
正味財産合計 Total Net Assets						**101,754,268**
負債及び正味財産合計 Total of Net Assets and Liabilities						**109,095,787**

独立監査人の監査報告書 Independent Auditor's Report (This report was originally written in Japanese. Second Harvest Japan translated the report into English.)

セカンドハーベスト・ジャパン 理事 / **マクジルトン・チャールズ・アール 殿**　To Second Harvest Japan CEO / **Charles Earl McJilton**

私は、セカンドハーベスト・ジャパンの平成27年1月1日から平成27年12月31日までの計算書類、すなわち、活動計算書、貸借対照表及び財産目録について監査を行った。この計算書類の作成責任はセカンドハーベスト・ジャパンにあり、私の責任は独立の立場から計算書類に対する意見を表明することにある。この監査に当たって、一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠し、必要と認めた監査手続を実施した。監査の結果、上記の計算書類が、セカンドハーベスト・ジャパンの収支及び財産の状況を適正に表示しているものと認める。なお、セカンドハーベスト・ジャパンと私との間には利害関係はない。

I audited Second Harvest Japan's financial statements for the period of Jan. 1, 2015 to Dec. 31, 2015. The financial statements mean the statement of activity, the revenue and expenditure statement, and the list of assets. These financial statements are the responsibility of Second Harvest Japan. My responsibility is to express an opinion on these statements from my independent position. I conducted my audit in accordance with auditing standards accepted in public as fair and reasonable.As a result of my audit, I admit that the financial statements above fairly present Second Harvest Japan's financial position. I have no vested interest with Second Harvest Japan.

作成日：平成28年3月1日　事務所名称：公認会計士 中島統吾事務所 公認会計士
Togo Nakajima, Certified Accountant　March 1, 2016

中島統吾

SECOND HARVEST
セカンドハーベスト ジャパン

セカンドハーベスト・ジャパン
〒111-0053 東京都台東区浅草橋4-5-1 水田ビル1F

Second Harvest Japan
1F Mizuta Bldg. 4-5-1 Asakusabashi, Taito-ku,
Tokyo, Japan 111-0053

TEL: 03-5822-5371
FAX: 03-5822-5372
WEB: www.2hj.org

2HJ search

2ndharvestjapan

@2ndharvestjapan

「かざして募金」はじめました。

かざして募金はスマホでQRコードを読み取るだけで簡単に寄付ができるサービスです。
We started fundraising using QR codes.
Donating by a smartphone is easy.

ソフトバンク向け
Softbank:

ソフトバンク以外のケータイ向け
Others (Docomo, au, etc):

secondharvest asia

セカンドハーベスト・アジアについて

セカンドハーベスト・アジア(2HA)は、セカンドハーベスト・ジャパン(2HJ)の姉妹団体としてアメリカに設立された 501(c)(3)非営利団体です。2HA は、日本を含むアジアにおけるフードバンクの発展を促進するというミッションの下、日本の2HJの設立者であるマクジルトン・チャールズが中心となって、2010年4月6日にミネソタ州に設立され、現在アメリカからアジアのフードバンクの支援活動を行っています。これまでに、日本のフードバンク団体スタッフを招いて、アメリカの本格的なフードバンク団体(San Francisco Food Bank、St. Mary's Food Bank Alliance)にて研修やインターンシップ事業を行ってきました。また、それ以外にもシンガポール、マレーシア、香港、フィリピン、韓国、台湾等のフードバンク団体、ネットワークと交流を行い、アジア内のフードバンク活動の更なる発展のために寄与しています。

This is our sister organization in the United States. Incorporated in the state of Minnesota on April 6, 2010, it is a 501(c)(3) non-profit organization that promotes food banking in Asia. They provide language and logistic support for visits to food banks outside the region. They also work to introduce best practices to food banks in the region. In the last three years they have played an active role providing relief to the two largest natural disasters, Tohoku tsunami in Japan and the Yolanda typhoon in the Philippines. Each fall they sponsor a regional meeting of food banks from Malaysia, Singapore, Philippines, Taiwan, Korea, Hong Kong and Japan.

SECOND
HARVEST
セカンドハーベスト ジャパン

www.2hj.org